文部科学省認可通信教育

放送大学大学院

授業科目案内

2027年度 第1学期

［文化科学研究科修士課程］

目　次

● 大学院修士課程授業科目案内の利用にあたって …… 2

● 2027年度新規開設科目一覧 …… 3

● 通信指導・単位認定試験について …… 4

● オンライン授業について …… 7

● 大学院修士課程科目系統図 …… 9

● 2027年度第1学期大学院修士課程授業科目講義概要目次 …… 17

● 2027年度第1学期大学院修士課程授業科目講義概要 …… 19

● 事前学修及び事後学修について …… 50

● 2027年度第1学期大学院修士課程学習センター受験者用の
単位認定試験時間割・出題形式一覧 … 51

● 2027年度第1学期放送授業番組表 …… 55

● 2027年度第1学期大学院修士課程授業科目五十音順索引 …… 58

講　義　概　要　の　見　方

「講義概要」のそれぞれのページに記載されている事項は、次の項目から構成されています。

生活健康科学プログラム

① 科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
1111111 ○○研究 ('22) 放送　若葉 〔放送大学客員教授 △△大学教授〕	2	テレビ (月)13:30～14:15 通信指導問題　記述式(直接入力) 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日(水)～18日(日)17時 学習センター受験　◇月◇日(◇)1時限 2025年度2学期　XX.X点 2026年度1学期　XX.X点	○○○

大学院修士課程授業科目案内の利用にあたって

この冊子には2027年度第1学期に放送大学大学院修士課程で開設されている授業科目の概要などを記載しています(科目の詳細な情報については、本学ウェブサイトのシラバスを参照してください)。

1．科目の登録は、この『大学院修士課程授業科目案内』と『修士選科生･修士科目生学生募集要項』(出願者以外は『科目登録申請要項』)の両方を必ずご覧になり、注意事項および記入方法を確認のうえ、行ってください。

2．「講義概要」は、各プログラムの科目順〔生活健康科学、人間発達科学、臨床心理学、社会経営科学、人文学、情報学、自然環境科学〕に構成されています。

3．「講義概要」のそれぞれのページに記載されている事項は、巻頭の「講義概要の見方」を参照してください。

＜放送授業は次の方法、チャンネルで行っています。＞

○テレビ放送

BS放送231チャンネルで放送しています。
※放送大学の番組を放送しているケーブルテレビでも視聴できます。

○ラジオ放送

BS放送531チャンネルで放送しています。
テレビでお聴きいただく音声放送で、画面には番組名が静止画で表示されます。
※放送大学の番組を放送しているケーブルテレビでも聴取できます。

○インターネット配信

開講期間中、原則全ての放送授業の番組をインターネット配信しますので、パソコンやスマートフォン等で視聴できます（一部インターネット配信限定で視聴する科目があります)。科目名や視聴に必要な環境については放送大学ウェブサイトの「トピックス」を参照してください。
※映像・音声をパソコン等に保存することはできません。
※接続の際の通信費やプロバイダ料金などは利用者ご負担となりますので、ご注意ください。

○光回線

光回線サービスを契約している方は「ひかりTV」や「テレビ視聴サービス（オプション)」で視聴できる場合があります。追加料金が必要ですが、BSアンテナがなくてもテレビ番組を楽しめます。詳細は、契約中の光回線サービス事業者にご確認ください。
〈ひかりTVの詳細〉https://www.hikaritv.net/entry/lineup/tv/digital/#tab2

○学習センター等における視聴

各学習センターに設置されているインターネット視聴用のパソコンをご利用いただき、インターネット配信でご視聴ください。
DVD・CDでの視聴を希望する場合は、放送教材DVD・CDの郵送貸出しをご利用ください。

○字幕

テレビ科目については、基本的にすべて字幕表示が可能です。ただし、一部の外国語科目では字幕表示に対応していません。また、新規開設されたテレビ科目については、字幕対応が開設年度の2学期又は翌年度からとなりますので、ご注意ください。字幕対応状況は、各科目のメディア欄をご参照ください。

＜オンライン授業は次の方法で行っています（p.7もご確認ください)。＞

受講にはインターネット接続されたパソコンとブラウザー、PDFファイルが閲覧できるソフトウエアが必要です。科目登録前に、必ずオンライン授業体験版（https://online-open.ouj.ac.jp/）で、ご自分のパソコンスキル、パソコン環境、オンライン授業システムの操作方法を確認してください。

4．「2027年度第1学期大学院修士課程学習センター受験者用の単位認定試験時間割・出題形式一覧」には、単位認定試験日・時限がまとめて記載されています。単位認定試験を学習センター等で受験する方のみ、ご確認ください。
※学習センター等での受験については、p.5をご確認ください。

5．システムWAKABAから、公表期間中の単位認定試験の問題・解答・解説等が閲覧できます。詳しくは、システムWAKABAをご覧ください。

6．資格取得を目的とする場合には、必ず事前に学習センター等で配布している別冊の『教員免許状及び各種資格について』等の冊子または本学ウェブサイトをご覧いただき、内容を確認した上で登録してください。なお、冊子の内容は毎年度更新しますので、必ず最新年度の冊子を確認してください。

2027年度新規開設科目一覧

プログラム	科目名	単位数	メディア	主任講師（※は専門担当講師）		履修制限	履修制限科目
				講師氏名	所属機関		
生活健康科学	健康・スポーツ科学研究（'27）	2	R	関根　紀子	放送大学教授	有	健康・スポーツ科学研究（'21）
	臨床薬理学特論（'27）	1	OL	柳田　俊彦	宮崎大学教授	有	臨床薬理学特論（'17）
	臨床薬理学特論応用（'27）	1	OL	柳田　俊彦	宮崎大学教授	無	
	特定行為共通科目統合演習（'27）	1	OL	山内　豊明 三笘　里香 中村　京太※ 荒神　裕之※	放送大学教授 熊本大学大学院教授 横浜市立大学附属市民総合医療センター准教授 山梨大学大学院教授	有	特定行為共通科目統合演習（'17）
	フィジカルアセスメント特講演習（'27）	1	OL	山内　豊明 三笘　里香	放送大学教授 熊本大学大学院教授	無	
人間発達科学	学校臨床心理学特論（'27）【臨床心理学プログラムと共通】	2	R	丸山　広人	放送大学教授	無	
	心理統計法特論（'27）【臨床心理学プログラムと共通】	2	R	小杉　考司	専修大学教授	有	心理・教育統計法特論（'21）
	発達心理学特論（'27）【臨床心理学プログラムと共通】	2	TV	遠藤　利彦	東京大学教授	有	発達心理学特論（'21）
臨床心理学	学校臨床心理学特論（'27）【人間発達科学プログラムと共通】	2	R	丸山　広人	放送大学教授	無	
	心理統計法特論（'27）【人間発達科学プログラムと共通】	2	R	小杉　考司	専修大学教授	有	心理・教育統計法特論（'21）
	発達心理学特論（'27）【人間発達科学プログラムと共通】	2	TV	遠藤　利彦	東京大学教授	有	発達心理学特論（'21）
	障害児・障害者心理学特論（'27）	2	R	大六　一志 山中　克夫	NPO法人LD・Dyslexiaセンター顧問 筑波大学教授	有	障害児・障害者心理学特論（'19）
社会経営科学	日本の人的資源管理（'27）	2	R	原田　順子 平野　光俊	放送大学教授 大手前大学学長	無	
	45分で読む経済思想史（'27）	1	OL	松原　隆一郎	放送大学特任教授	無	
人文学	西洋中近世史（'27）	2	R	河原　温 皆川　卓	放送大学特任教授 法政大学教授	無	
	日本史の基本史料を読む（'27）	2	R	杉森　哲也	放送大学教授	無	
情報学	ＩＣＴを活用した学習デザイン（'27）	2	R	平岡　斉士	放送大学准教授	無	
	情報デザイン特論（'27）	2	OL	伏見　清香 植村　朋弘※ 小早川　真衣子※	放送大学教授 多摩美術大学教授 千葉工業大学教授	無	

通信指導・単位認定試験について

○通 信 指 導

1. 実施方法

「Web通信指導による提出及び添削結果の確認」を基本とし、郵送提出科目のみ、「郵送」により実施します。

各科目の出題形式（択一式・記述式・併用式）については、『授業科目案内』の授業科目講義概要に記載していますので、出題形式も考慮の上、科目登録してください。

なお、履修科目の通信指導問題は4月上旬にシステムWAKABA「授業共有ファイル」（システムWAKABA→授業サポート→授業共有ファイル）にアップロードします。また、システムWAKABA「教材発送情報」の「通信発送状態」欄（システムWAKABA→教務情報→学生カルテ→教材発送情報）は提出方法にかかわらず空欄となります。

◆Web通信指導による提出

・自宅等から、インターネットを通じてWeb通信指導システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います（評価対象となる解答は一回目の提出のみです）。
・科目ごとに「択一式」「記述式」「（択一式と記述式の）併用式」のいずれかの形式で出題されます。

●択一式問題：選択肢をクリックすることで解答します。
●記述式問題

■オンラインテキスト（直接入力）形式
・解答記入欄に文字入力することで解答します。

■ファイル添付形式
・解答を記載したファイルを解答提出欄に添付することで解答します。

※Web提出が困難な方は、「○自宅等での提出・受験が困難な方へ（p.5）」、ウェブサイトまたは印刷教材に同梱するチラシ「通信指導の提出について」をご確認ください。

◆郵送による提出（郵送提出科目のみ）

・4月下旬に大学本部から送付される通信指導問題冊子・マークシート・返送用封筒を用いて、郵送で解答を提出します（提出方法の詳細は問題冊子等に同封します）。
・対象科目は以下のとおりです。

8931020　現実と向き合う政治理論（'22）	

2. 提出期間

提出方法	提　出　期　間
Web通信指導	2027年5月7日（金）10：00 ～ 5月27日（木）17：00
郵　送※	2027年5月13日（木）～ 5月27日（木）《必着》

※郵送提出科目、Web通信指導による提出が困難な方に限ります。

○単位認定試験

1. 実施方法概要（Web試験）

・インターネットを通じ「Web単位認定試験システム」にアクセスして受験します。
・試験期間中は自宅等から24時間いつでも受験できます。
・1科目50分の制限時間があります。（一時停止不可、1回のみ受験可能）
・出題形式には「択一式」「記述式」「（択一式と記述式の）併用式」があり、各科目の出題形式は「授業科目講義概要」（p.19 ～ p.48）に掲載しています。

●択一式問題
選択肢をクリックすることで
解答します。

●記述式問題
解答記入欄に文字入力することで
解答します。



2025年度第1学期単位認定試験からWebカメラによる本人確認を実施しています。
Webカメラをお持ちでない方（Webカメラが内蔵されている端末等を使用される場合は、別途準備する必要はありません）や、Webカメラを使用した撮影およびその操作に不安のある方は、学習センター等で受験することができます。

自宅受験を希望する方は、以下の手続きで自宅受験が可能となります。
①単位認定試験受験場所で「全て自宅受験」または「記述・併用のみ学習センター受験」を選択※。
②通信指導提出期間中に、Web単位認定試験体験版でWebカメラの動作確認を行う。

自宅受験を希望されない方は、単位認定試験受験場所で「全て学習センター受験」を選択※、もしくは、通信指導提出期間中に、「撮影不同意／不所持申請」を行ってください。

※今学期に入学する方は出願時に選択、前学期から引き続き在学している方は、システムWAKABA「教務情報→変更・異動手続→単位認定試験受験場所変更」により申請してください。

2. 試験日程

実施方法	出題形式	試験日程
Web試験	択一式科目	2027年7月14日（水）9:00 ～ 7月22日（木）17:00
	記述式・併用式科目	2027年7月14日（水）9:00 ～ 7月18日（日）17:00

○自宅等での提出・受験が困難な方へ

ご自宅等にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等の事情により、Web上での提出・受験が困難な方は、所定の手続きを行うことで、通信指導は郵送で提出、単位認定試験は受験場所を学習センター等に変更することが可能です。

○2027年度第1学期に入学する方（継続入学の場合を含みます）
出願票の「単位認定試験受験場所」に記入してください。未記入の場合は「全て自宅受験」となります。

○2026年度第2学期から引き続き在学している方
受験場所の変更を希望する場合は、システムWAKABA「教務情報→変更・異動手続→単位認定試験受験場所変更」により申請してください。

＜単位認定試験を学習センターで受験する場合の注意事項＞
◆学習センター等で受験する場合、「学習センター受験者用の単位認定試験時間割一覧」（p.52）に記載の試験日・時限に受験する必要があります。
◆学習センター等で受験する場合でも、原則として「問題の閲覧」および「択一式の解答」は、学習センター等のパソコンを用いてご自身で行っていただきます（記述式の解答のみ、解答用紙で行います）。
◆学習センターで行う操作体験会に、ご参加ください。各学習センターの体験会実施日時等の詳細については、各学習センターから対象者へ、随時ご案内を送付します。

○Web通信指導・Web単位認定試験の操作体験について

実際に提出・受験で使用するシステムの操作を体験していただける「Web通信指導お試し版・Web単位認定試験体験版（ゲスト用）」を公開しています。解答提出までの操作方法や、ご自身の受験環境での動作について必ずあらかじめご確認ください（学習センターで受験する方は各学習センターでの操作体験会にご参加ください）。

なお、解答提出までの操作方法については、Web通信指導お試し版・Web単位認定試験体験版（ゲスト用）トップ画面左側の「操作ガイド」をご確認ください。

〈アクセス方法〉

○在籍中の方の場合

・Web通信指導（https://tsushin.ouj.ac.jp）

・Web単位認定試験（https://shiken.ouj.ac.jp）

いずれも、システムWAKABAのトップ画面右側、「学内リンク」から、「Web通信指導」または「Web単位認定試験」をクリックして各システムにアクセスしてください。なお、システムメンテナンスによりご利用いただけない期間があります。

○入学前の方（在籍していない方）の場合

Web通信指導お試し版・Web単位認定試験体験版（ゲスト用）（https://shiken-open.ouj.ac.jp/）

「通信指導お試し版（ゲスト用）」は、放送大学ウェブサイトトップ画面から「通信指導についてのご案内」を開き、ページ中程、「Web通信指導お試し版（ゲスト用）」をクリックしてアクセスしてください。

※入学される方は、4月下旬以降に「在籍中の方の場合」の方法でアクセスできるか確認してください。なお、ゲスト用と在学生用ではページの見え方が異なる箇所があります。

○障がいのある方で、パソコン操作が困難な方への配慮について

障がいのある方で、自宅等でのWebでの提出や受験が困難な方につきましては、障がいの特性に応じた配慮を行っております（本学では、修学上の合理的配慮と言います）。

修学上の合理的配慮は、希望される方ご自身と本学（所属学習センター）とが相談・協議のうえ、決定されるものになります。詳細は大学ウェブサイト（https:/www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/accessibility/support/）をご参照いただくか、所属学習センターまでご相談ください。

すでに修学上の合理的配慮を受けている方でも、自宅等でのWeb受験において不安に感じることや配慮して欲しいことなどがございましたら、早めに所属学習センターまでご相談ください。



オンライン授業について

全ての学習をインターネット上で行います。科目ごとに決められた期間に課題を提出することで成績評価を行います。通信指導や単位認定試験はありません（一部科目を除く）。オンライン授業の学習方法・操作方法は、「オンライン授業体験版（https://online-open.ouj.ac.jp/）」をご確認ください。

［配信期間］

配信期間は2027年4月5日（月）10時から2027年8月31日（火）17時を予定しています。
※配信終了後は、講師からのお知らせ・各課題の採点結果などの確認はできません。ご注意ください。

［履修上の注意］

1. オンライン授業には1単位科目（8コマ）と2単位科目（15コマ）があります。
2. オンライン授業は科目によって課題の提出期限が異なります。配信開始後は必ずオンライン授業システムにアクセスし課題締切をご確認ください。課題締切の目安は、オンライン授業体験版で確認できます。
3. オンライン授業のすべての教材はインターネット上で配信します（印刷教材はありません）。一部の科目については指定教材があります。シラバスをご確認ください。
4. オンライン授業科目の単位修得後、放送大学に学籍があり、かつ当該科目の開設期間中は、復習用に講義映像や資料などの一部を閲覧することができます。配信は学期開始1ヶ月後ごろ開始いたします。
5. オンライン授業は通信指導、単位認定試験を行わないため再試験はありません。単位を修得できなかった科目を、次学期以降に再受講する場合は、再度科目登録申請と授業料の納入が必要です。
6. 受講にはインターネット接続されたパソコンが必要です。詳細はオンライン授業体験版をご確認ください。学習できる環境をご自身で整えた上、科目登録をお願いします。学習センターなどのパソコンは、原則利用できません。

［学習履歴データの利用・提供について］

放送大学では、オンライン授業の改善・発展、教育の質向上及び学術研究を目的として、授業の実施過程で蓄積される学習履歴データを学内で利用することがあります。また、これらの目的のため、国立情報学研究所（NII）と締結した協定に基づき、学習履歴データについて、氏名・学生番号等の直接的な識別子を削除するなど、学生個人が識別される可能性をできる限り低減した上で同研究所に提供し、共同研究を行う場合があります。

現在実施中の研究の概要は下記のページに掲載しています。研究ごとに、対象となるデータ、対象期間、研究目的等をお知らせするとともに、研究への利用を希望されない場合に申し出ることができるオプトアウトの手続についてもご案内しています。

オンライン授業を受講される際には、上記の点についてご理解いただきますようお願いします。

・学習履歴データを利用した研究の概要、研究への利用を希望されない場合の手続（オプトアウト）
https://www.ouj.ac.jp/gakuin/about/irb/
※「放送大学の学生・元学生の皆様へ」＞「研究の情報公開」をご参照ください。

大学院修士課程科目系統図

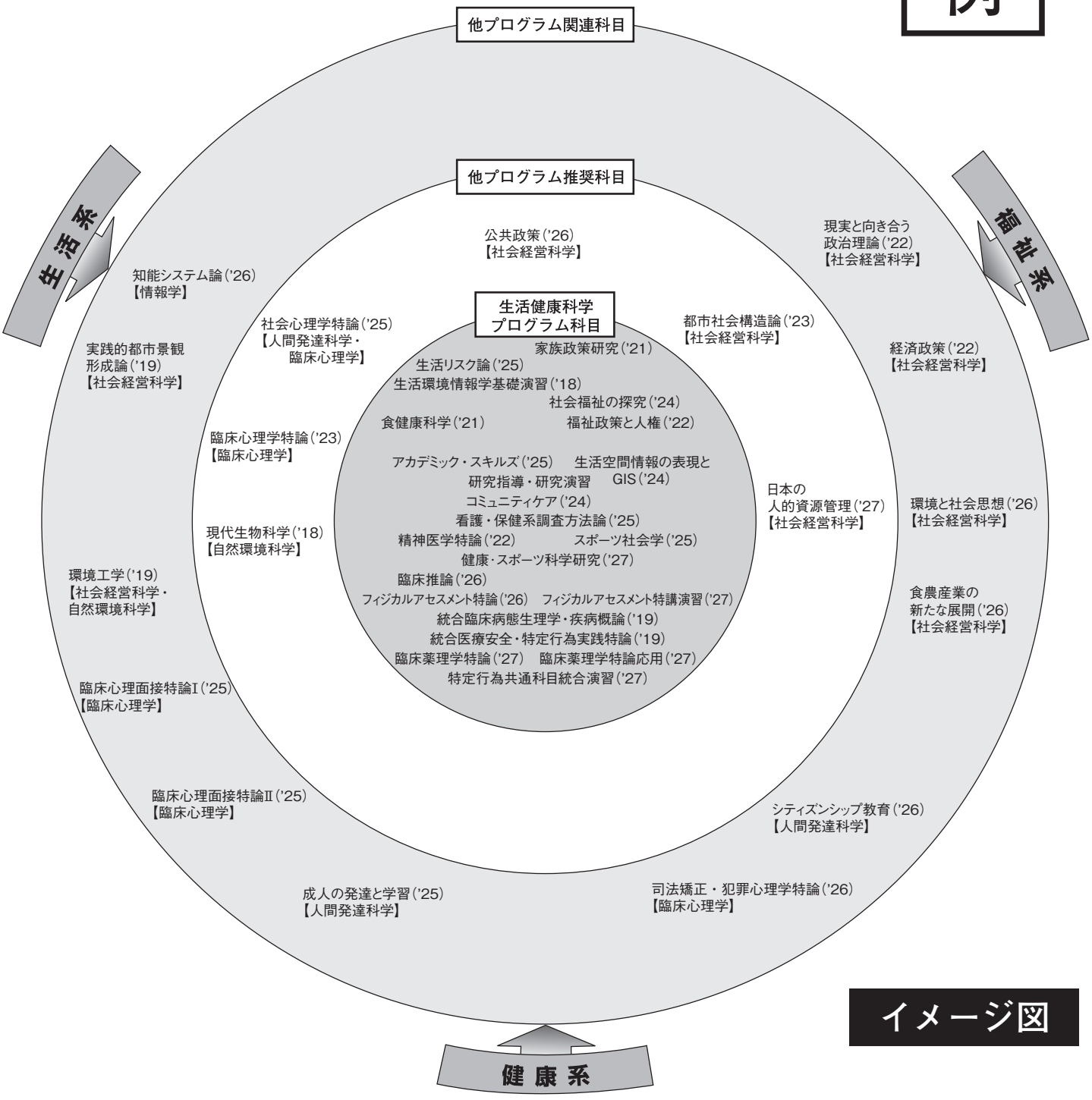
大学院修士課程科目系統図について

このプログラムごとの系統図は履修科目を選ぶ上で参考にしていただくために作成されたものです。

科目を選択する際は、なるべく自分の研究テーマに関連する科目を優先して選択することをお勧めします。研究テーマによっては、この系統図にとらわれず、広く履修してください。

生活健康科学プログラム

例



イメージ図

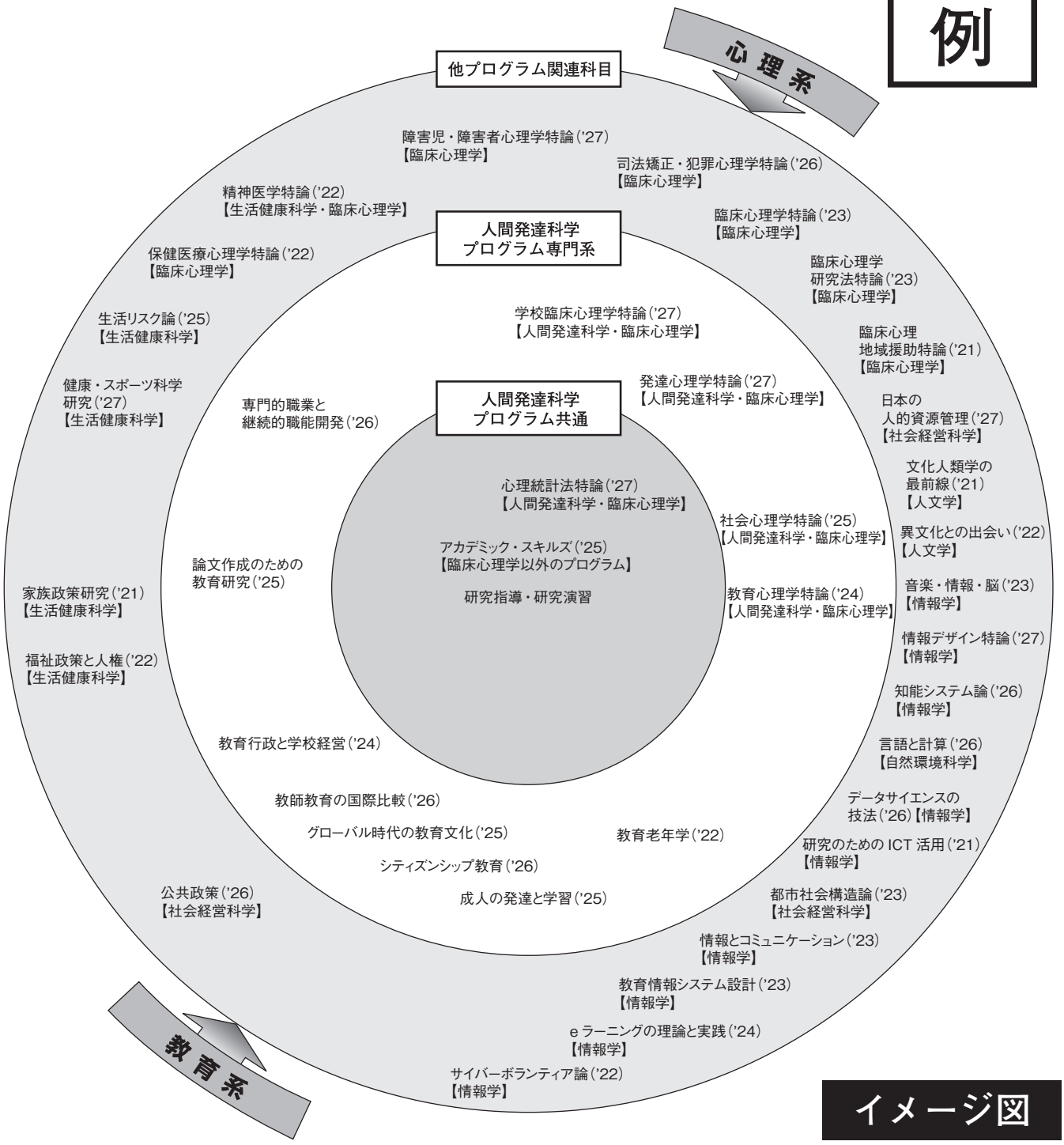
生活健康科学プログラム所属の修士全科生は「生活健康科学プログラム」で開設されている科目はできるだけ履修してください。

「他プログラム推奨科目」は、他のプログラム科目でぜひ履修してほしいもの、「他プログラム関連科目」は他プログラム科目で履修することが望ましいものです。

ただし、各自の研究テーマによって、上記円環図以外の他プログラムの科目が必要と思われる場合には、その科目を履修してください。

人間発達科学プログラム

例



イメージ図

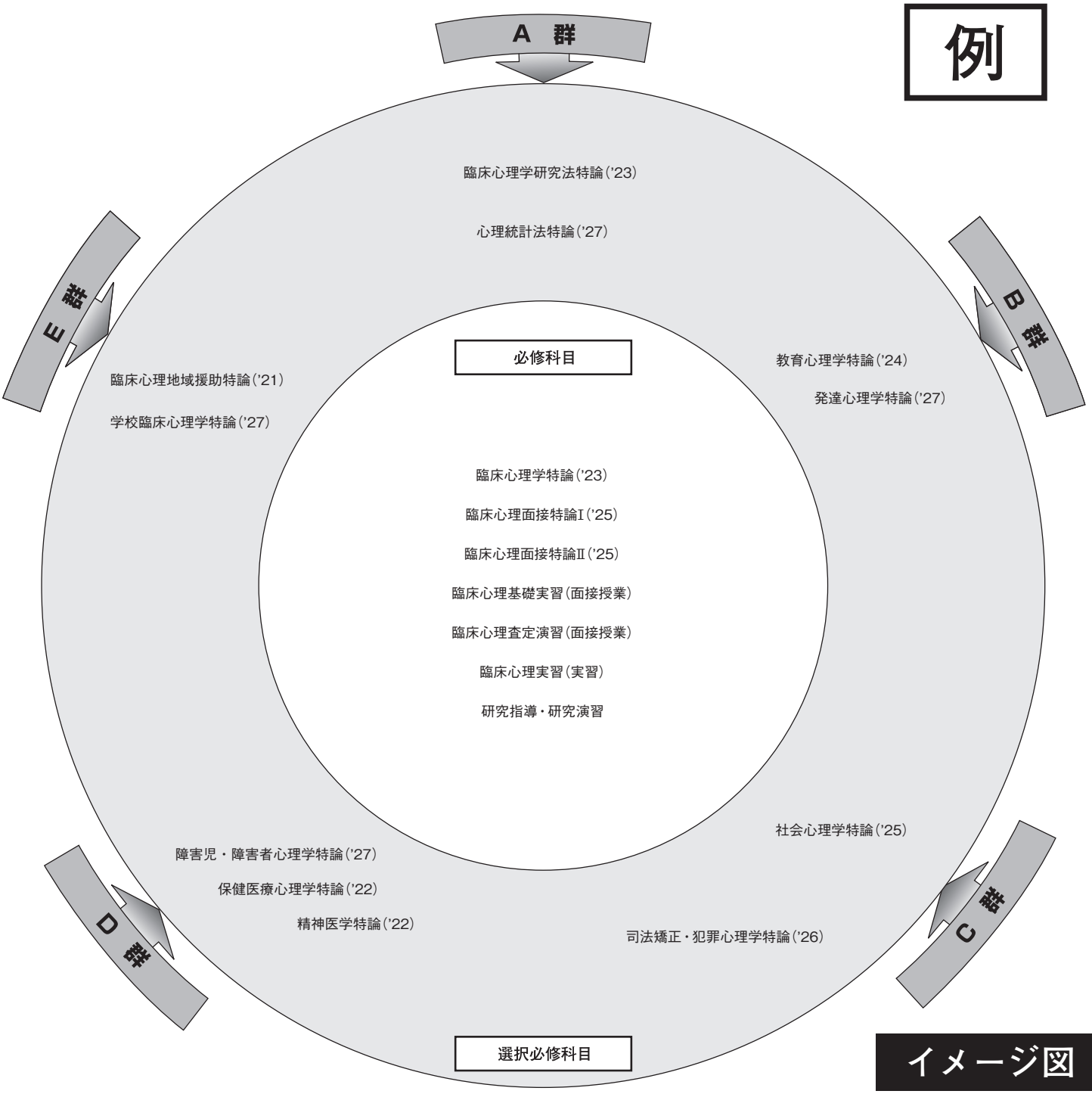
人間発達科学プログラムの科目のうち、「人間発達科学プログラム共通」は教育系と心理系の両方に共通する科目、「人間発達科学プログラム専門系」は、それぞれの系の専門的科目です。

人間発達科学プログラム所属の修士全科生は「人間発達科学プログラム共通」のうち「研究指導」「研究演習」の他に、1科目以上履修することが推奨されます。

「他プログラム関連科目」は、他のプログラム科目で人間発達科学プログラムに関連する科目です。ただし、各自の研究テーマによって、他の科目が必要と思われる場合には、その科目を履修してください。

臨床心理学プログラム

例



イメージ図

臨床心理学プログラムには、必修科目と選択必修科目があります。
選択必修科目は、A～E群の中からそれぞれ1科目（2単位）以上、計10単位以上修得する必要があります。※
本学大学院は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会による第2種大学院指定校となっており、上記の必修科目・選択必修科目の履修が大学院修了条件となっています。

※　既に閉講された科目の必修科目および選択必修科目の区分等は次のとおりです。

必修科目

臨床心理学特論('02)、臨床心理学特論('05)、臨床心理学特論('11)、臨床心理学特論('17)、臨床心理面接特論('02)、臨床心理面接特論('07)、臨床心理面接特論('13)、臨床心理面接特論Ⅰ('19)、臨床心理面接特論Ⅱ('19)

選択必修科目

A群：心理学研究法特論('02)、臨床心理学研究法特論('06)、臨床心理学研究法特論('12)、臨床心理学研究法特論('18)、心理・教育統計法特論('09)、心理・教育統計法特論('15)、心理・教育統計法特論('21)

B群：発達心理学('02)、発達心理学特論('07)、発達心理学特論('11)、発達心理学特論('15)、認知行動科学('02)、認知行動科学('06)、教育心理学特論('12)、教育心理学特論('18)、発達心理学特論('21)

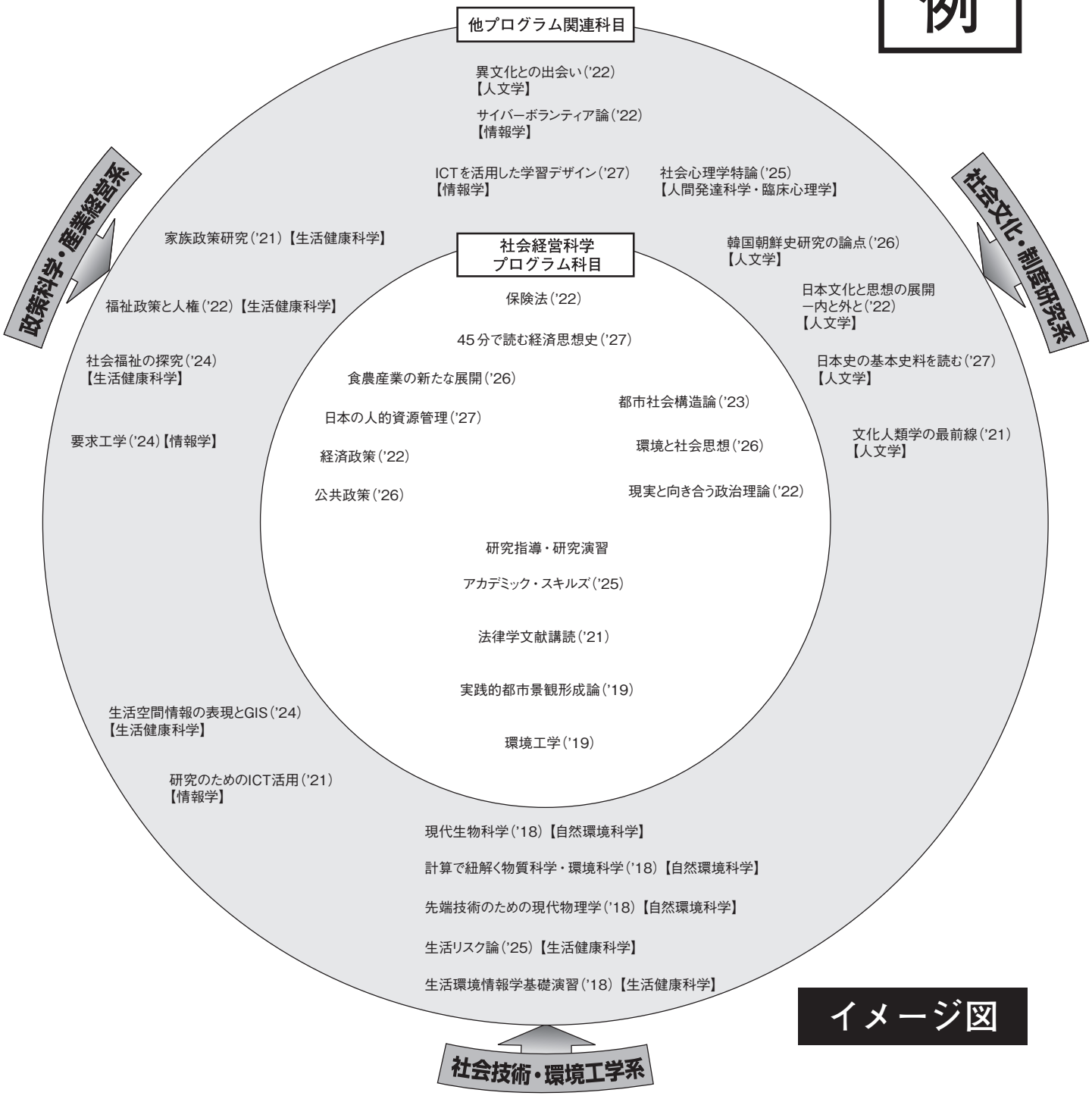
C群：社会心理学特論('02)、社会心理学特論('05)、社会心理学特論('09)、現代社会心理学特論('11)、現代社会心理学特論('15)、家族心理学特論('02)、家族心理学特論('06)、家族心理学特論('10)、家族心理学特論('14)、心理臨床における法と倫理('17)、司法矯正・犯罪心理学特論('20)

D群：精神医学('02)、精神医学('06)、精神医学特論('10)、精神医学特論('16)、障害児・障害者心理学特論('08)、障害児・障害者心理学特論('13)、障害児・障害者心理学特論('19)

E群：学校臨床心理学('02)、学校臨床心理学('05)、学校臨床心理学特論('09)、コミュニティ・アプローチ特論('03)、臨床心理地域援助特論('07)、臨床心理地域援助特論('11)、学校臨床心理学・地域援助特論('15)、投影査定心理学特論('15)、学校臨床心理学特論('21)

社会経営科学プログラム

例



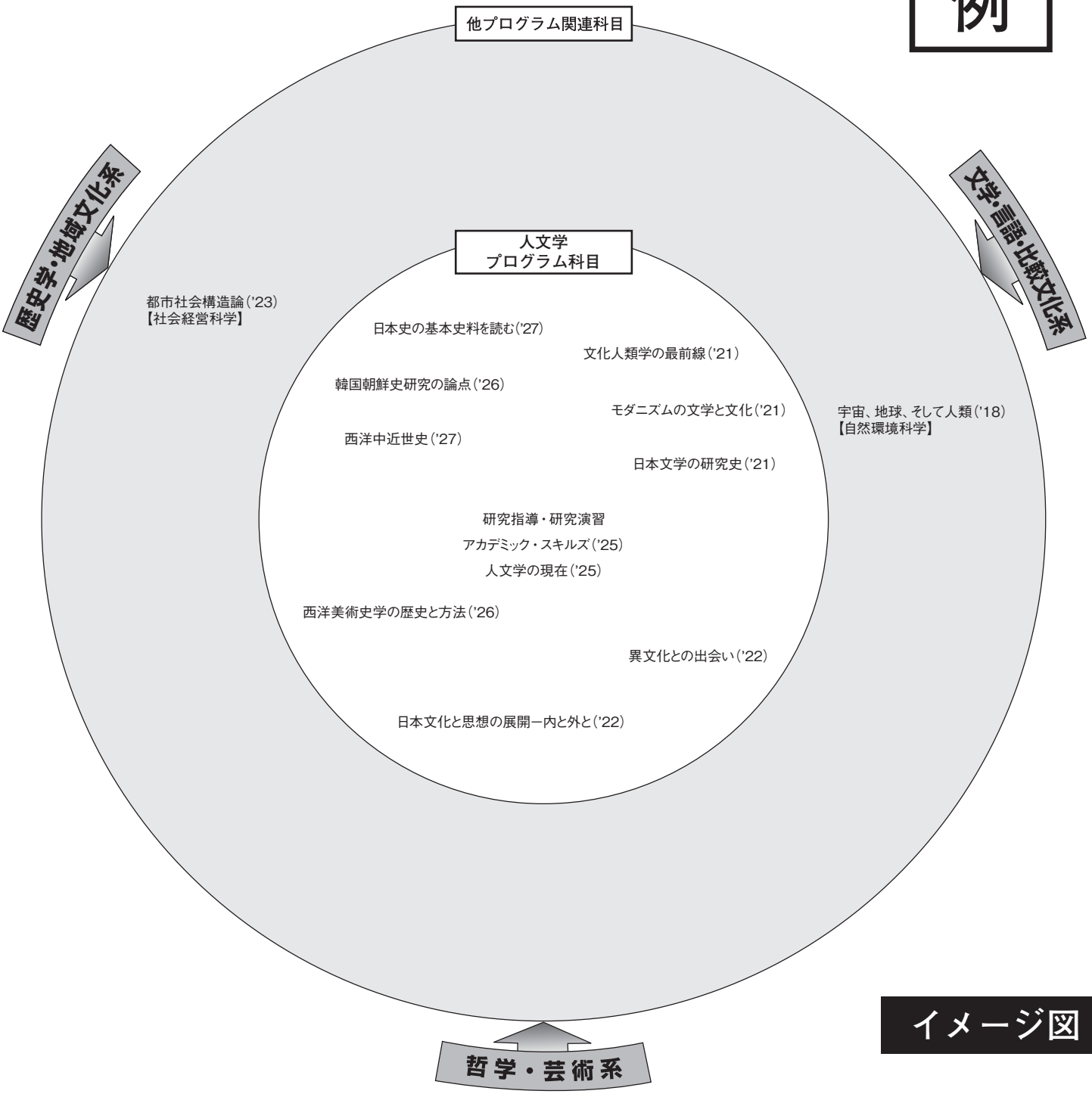
イメージ図

社会経営科学プログラムの提供科目は、それぞれ独立した内容を有し１科目で完結していますが、３つの系において緩やかに関連する科目群をなしています。

他プログラム関連科目とは、この３つの系・科目群という観点から関連の深い他プログラムの提供科目を例示したものです。各自の研究テーマによっては、この３系統や科目例示にとらわれず、広く履修してください。

人文学プログラム

例

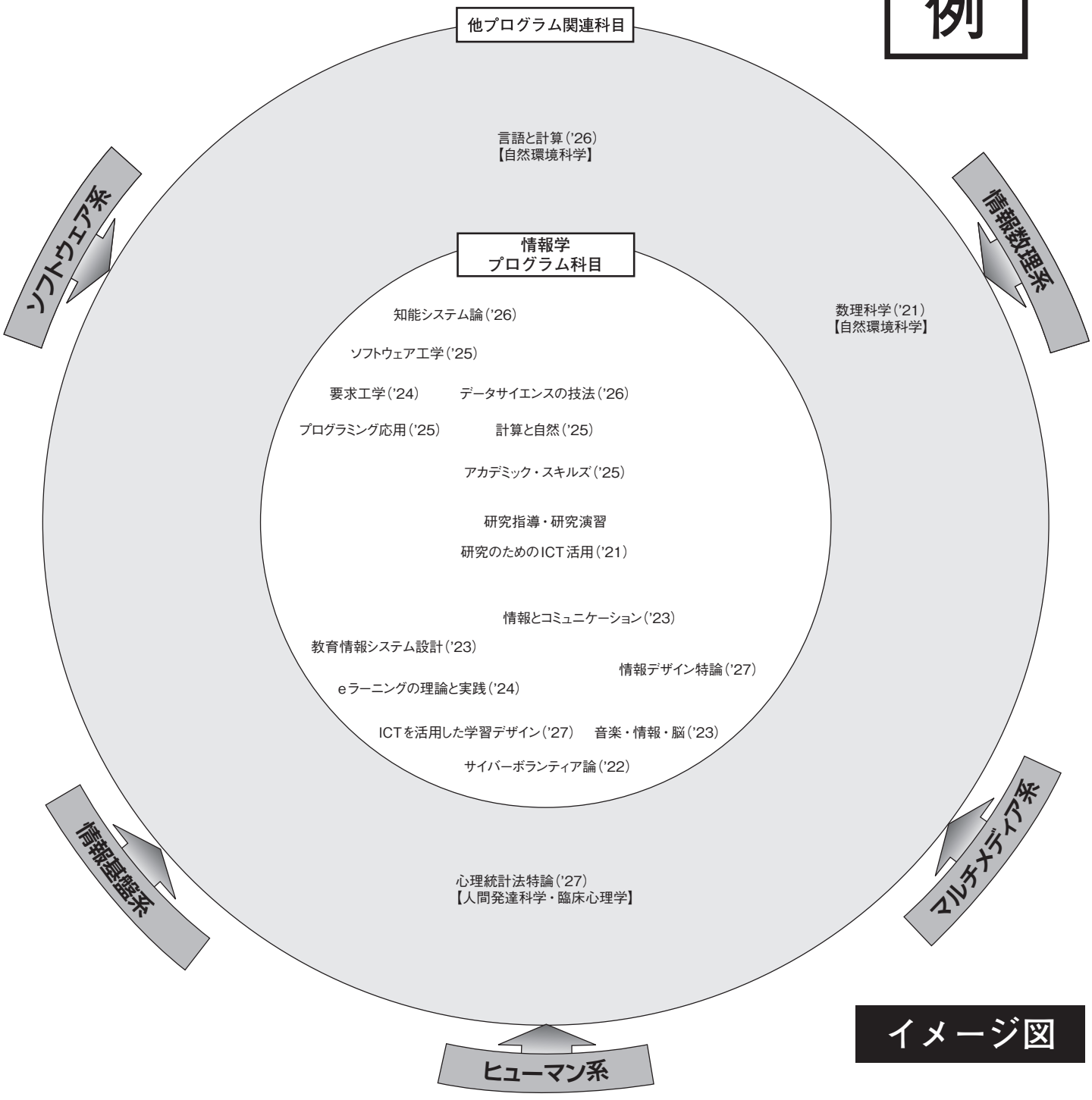


イメージ図

人文学プログラムでは、哲学、美学芸術論、歴史学、文学、言語学、文化人類学などの人文学諸分野を研究対象としており、開講科目は「哲学・芸術系」「歴史・地域系」「文学・言語・比較文化系」として配置されています。指導教員と相談しながら、各自必要と思われる場合は他のプログラムで開講されている科目も履修して、自らの研究に役立ててください。

情報学プログラム

例

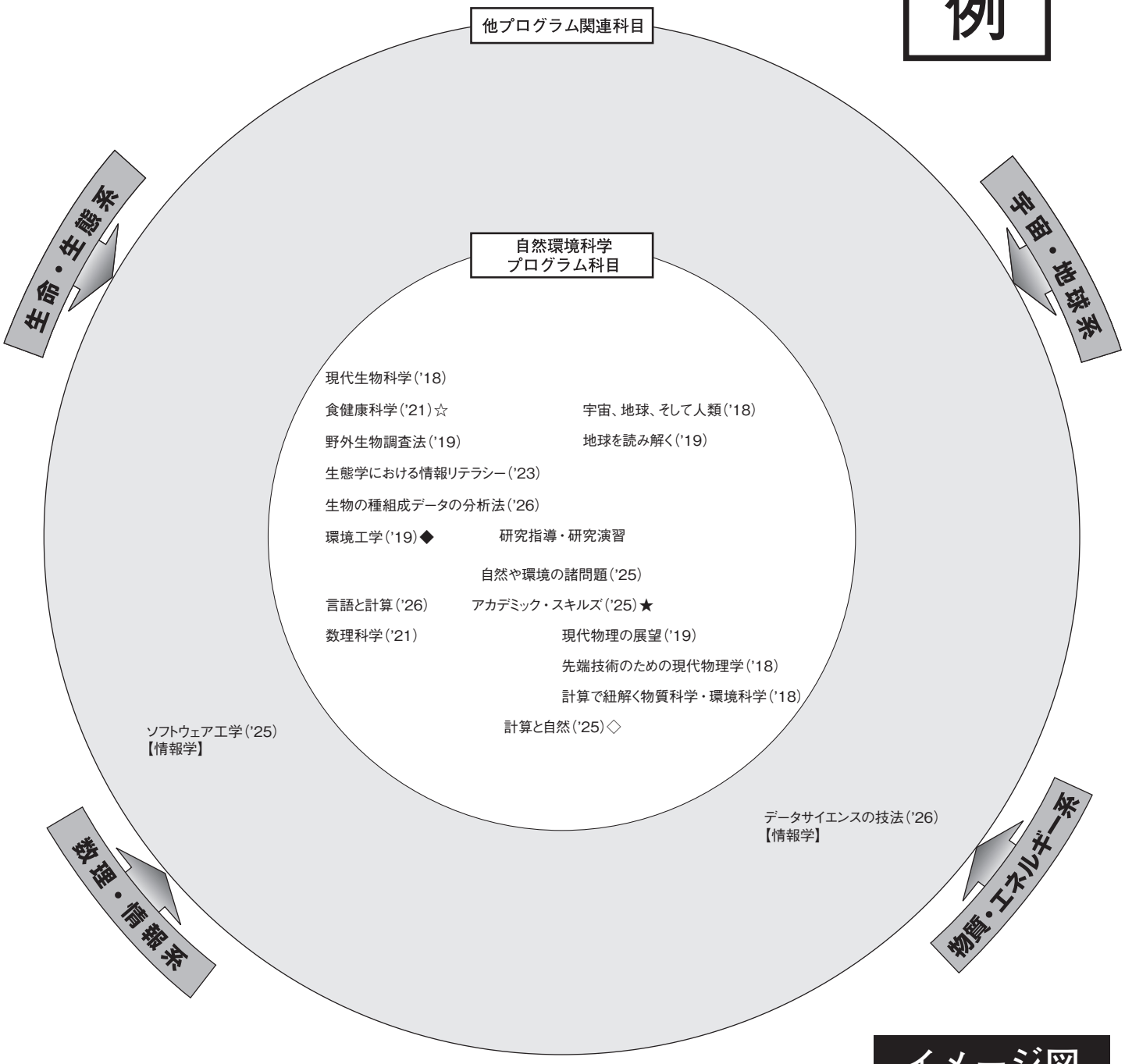


イメージ図

他プログラムの科目は、必要に応じて選択し、自らの研究に役立ててください。

自然環境科学プログラム

例



イメージ図

☆生活健康科学プログラムと自然環境科学プログラムに共通する科目
◆社会経営科学プログラムと自然環境科学プログラムに共通する科目
◇情報学プログラムと自然環境科学プログラムに共通する科目
★他プログラム（臨床心理学プログラムを除く）と自然環境科学プログラムに共通する科目

2027年度第1学期大学院修士課程授業科目講義概要目次

生活健康科学プログラム

家族政策研究（’21）……20
食健康科学（’21）……20
コミュニティケア（’24）……20
生活リスク論（’25）……20
精神医学特論（’22）……20
看護・保健系調査方法論（’25）……21
スポーツ社会学（’25）……21
健康・スポーツ科学研究（’27）……21
福祉政策と人権（’22）……21
社会福祉の探究（’24）……21
臨床推論（’26）……22
フィジカルアセスメント特論（’26）……22
フィジカルアセスメント特講演習（’27）……22
臨床薬理学特論（’27）……23
臨床薬理学特論応用（’27）……23
特定行為共通科目統合演習（’27）……24
統合臨床病態生理学・疾病概論（’19）……24
統合医療安全・特定行為実践特論（’19）……25
生活環境情報学基礎演習（’18）……25
生活空間情報の表現とＧＩＳ（’24）……26
アカデミック・スキルズ（’25）……26

人間発達科学プログラム

教育老年学（’22）……27
教育行政と学校経営（’24）……27
グローバル時代の教育文化（’25）……27
　―世界の中で考える日本の教育―
成人の発達と学習（’25）……27
シティズンシップ教育（’26）……27
教師教育の国際比較（’26）……28
専門的職業と継続的職能開発（’26）……28
論文作成のための教育研究（’25）……28
学校臨床心理学特論（’27）……28
発達心理学特論（’27）……28
　―関係性と子どもの社会情緒的発達―
心理統計法特論（’27）……29
教育心理学特論（’24）……29
社会心理学特論（’25）……29
アカデミック・スキルズ（’25）……29

臨床心理学プログラム

臨床心理学特論（’23）……30
臨床心理面接特論Ⅰ（’25）……30
　―心理支援に関する理論と実践―
臨床心理面接特論Ⅱ（’25）……30
　―心理臨床の実際―
臨床心理基礎実習……30
臨床心理査定演習……30
臨床心理実習……31
臨床心理学研究法特論（’23）……31
心理統計法特論（’27）……31
発達心理学特論（’27）……31
　―関係性と子どもの社会情緒的発達―
教育心理学特論（’24）……31
社会心理学特論（’25）……32
司法矯正・犯罪心理学特論（’26）……32
精神医学特論（’22）……32
保健医療心理学特論（’22）……32
　―保健医療分野に関する理論と支援の展開―
障害児・障害者心理学特論（’27）……33
学校臨床心理学特論（’27）……33
臨床心理地域援助特論（’21）……33

社会経営科学プログラム

経済政策（’22）……34
公共政策（’26）……34
都市社会構造論（’23）……34
環境工学（’19）……34
環境と社会思想（’26）……34
実践的都市景観形成論（’19）……35
食農産業の新たな展開（’26）……35
　―地域資源を活かして経済・社会を再生する―
45分で読む経済思想史（’27）……35
法律学文献講読（’21）……35
保険法（’22）……35
現実と向き合う政治理論（’22）……36
日本の人的資源管理（’27）……36
アカデミック・スキルズ（’25）……36

人文学プログラム

日本文化と思想の展開－内と外と（’22）……37
西洋美術史学の歴史と方法（’26）……37
日本史の基本史料を読む（’27）……37
韓国朝鮮史研究の論点（’26）……37
西洋中近世史（’27）……37
日本文学の研究史（’21）……38
モダニズムの文学と文化（’21）……38
異文化との出会い（’22）……38
文化人類学の最前線（’21）……38
人文学の現在（’25）……39
アカデミック・スキルズ（’25）……39

情報学プログラム

知能システム論（’26）……40
音楽・情報・脳（’23）……40
ソフトウェア工学（’25）……40
研究のためのＩＣＴ活用（’21）……40
ｅラーニングの理論と実践（’24）……41
計算と自然（’25）……41
データサイエンスの技法（’26）……42
　―統計的分析と機械学習―
サイバーボランティア論（’22）……42
　―ボランティア活動におけるICT活用―
情報とコミュニケーション（’23）……42
ＩＣＴを活用した学習デザイン（’27）……43
情報デザイン特論（’27）……43
教育情報システム設計（’23）……43
　―学習教育データとデジタルエコシステム―
要求工学（’24）……43
プログラミング応用（’25）……44
アカデミック・スキルズ（’25）……44

自然環境科学プログラム

現代生物科学（’18）……45
生物の種組成データの分析法（’26）……45
野外生物調査法（’19）……45
生態学における情報リテラシー（’23）……46
現代物理の展望（’19）……46
先端技術のための現代物理学（’18）……46
計算で紐解く物質科学・環境科学（’18）……46
宇宙、地球、そして人類（’18）……46
地球を読み解く（’19）……47
数理科学（’21）……47
　―離散数理モデル―
言語と計算（’26）……47
計算と自然（’25）……47
食健康科学（’21）……48
環境工学（’19）……48
自然や環境の諸問題（’25）……48
アカデミック・スキルズ（’25）……48

研究指導（2025年度以前の入学者）……49
生活健康科学
人間発達科学
臨床心理学
社会経営科学
人文学
情報学
自然環境科学

研究演習（2026年度以降の入学者）……49
生活健康科学
人間発達科学
臨床心理学
社会経営科学
人文学
情報学
自然環境科学

研究指導（2026年度以降の入学者）……49
生活健康科学
人間発達科学
臨床心理学
社会経営科学
人文学
情報学
自然環境科学

2027年度第1学期
大学院修士課程授業科目講義概要

（注）網掛けの科目はオンライン授業科目です。オンライン授業の概要はp.7を確認してください。
（注）単位認定試験の平均点については2026年11月1日現在での過去2学期（2025年度第2学期、2026年度第1学期）分を掲載しています。
（注）〈字〉がついている科目には字幕が付与されています。

生活健康科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
8911010 **家族政策研究（'21）** **下夷　美幸** （放送大学教授） 2021年度開設科目	2	ラジオ （月）19:30～20:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）4時限 2025年度2学期　87.5点 2026年度1学期　90.8点	家族はプライベートな領域であるが、人々が営む家族のあり様や家族が抱える問題は、国や自治体等が策定・実施するさまざまな政策と深く関わっている。また、家族をめぐる人々の行為や意識の変化が、政策主体に影響を与え、政策を動かすこともある。本科目では、家族社会学の立場から、家族政策に関する基礎的理論と日本的背景を押さえたうえで、現代の家族問題に関わる制度・政策を取り上げ、諸外国との比較も交えながら、家族政策の日本的特徴と今後の課題について考察する。 ※学部科目「日本の家族問題を考える（'26）」「現代社会のなかの家族（'26）」とあわせて学習すると理解が深まる。
6910106 **食健康科学（'21）** **佐藤　隆一郎** （放送大学客員教授 東京大学大学院特任教授） **三浦　豊※** （放送大学客員教授 東京農工大学大学院教授） **下条　直樹※** （放送大学客員教授 千葉大学附属病院アレルギーセンター客員教授） ※は専門担当講師 2021年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、レポート（50%）（第8回のみ）の評価により行う。	**［「自然環境科学プログラム」と共通］** 学部科目「食と健康」と対をなす大学院講義。「食と健康」で学んだ、糖質、タンパク質、脂質、ビタミン、ミネラル、微量非栄養素、食と各種疾患などについて、それらをさらに掘り下げて、詳細に解説する。 ※高校卒業程度の化学の知識を有していることを前提とする。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6910130 **コミュニティケア（'24）** **田城　孝雄** （放送大学特任教授） **大木　幸子※** （放送大学客員教授 杏林大学教授） **服部　真治※** （放送大学客員教授 ㈱日本能率協会総合研究所主幹研究員） ※は専門担当講師 2024年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、レポート（50%）の評価により行う。	近年の社会の多様性により、個人の健康も重要ではあるが、地域全体として健康を保持増進する必要が生じている。したがって、地域における健康保持増進を検討する講座として「コミュニティヘルスケア研究」を開設することとした。 ここでは、地域の健康維持増進を支援する各フィールド活動を対象として、科学の視点を導入し、具体的な調査研究方法を学習し、より科学的なエビデンスを明確にする能力を身につける。 ※「公衆衛生（'24）」（学部）、「地域包括ケアシステムと在宅医療（'18）」（学部）、「健康長寿のスポートロジー（'24）」（学部）を併せて履修することが望ましい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
8911096 **生活リスク論（'25）** **奈良　由美子** （放送大学教授） **※この科目は「生活リスクマネジメント（'17）」の改訂科目です。** **「生活リスクマネジメント（'11）」「生活リスクマネジメント（'17）」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	ラジオ （火）19:30～20:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）4時限 2025年度2学期　94.5点 2026年度1学期　88.1点	生活の質を高めるうえで生活上のリスクを理解し低減することは不可欠である。このことは生活者のみならず、地域、企業、行政といった主体を含めた社会全体の課題といえる。本科目では、リスクの様相、認識、対処の局面から、生活リスクのマネジメントおよびリスクコミュニケーションに関する理論と実践についての講義を行う。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材の内容について自らの生活リスクに照らし合わせながら復習すること。
8911045 **精神医学特論（'22）** **石丸　昌彦** （放送大学名誉教授 北千住旭クリニック院長） 2022年度開設科目	2	ラジオ （水）19:30～20:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）6時限 2025年度2学期　78.3点 2026年度1学期　74.2点	**［「臨床心理学プログラム」と共通］** 精神医学は、精神疾患の診断や治療のあり方を検討する深くて広い学問である。本科目では精神医学の基本的な考え方を紹介したうえで、今日見られる代表的な疾患を事例とともにとりあげ、診断と治療の基本的な流れを解説する。個人の病理と社会のあり方との関わりにも随時言及する。 ※本科目と関連の深いものとして学部科目「精神疾患とその治療（'26）」がある。本科目のいわば基礎編にあたるもので、あらかじめ履修することを条件とはしないが、同科目程度の内容を学習してから本科目に進むと効率的である。あわせて日頃から健康や医学の問題に関心をもち、心身の健康について広く学ぶことが望ましい。

生活健康科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
8911088 **看護・保健系調査方法論（'25）** **戸ヶ里　泰典** （放送大学教授） **米倉　佑貴** 〔放送大学客員准教授 聖路加国際大学准教授〕 2025 年度開設科目	2	ラジオ （木）20:15～21:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）6時限 2025年度2学期　80.0点 2026年度1学期　65.5点	修士論文の作成にあたり、調査研究を実施する者は少なくない。看護・保健系領域を含む生活健康科学系分野における調査研究方法は、社会科学系における社会調査方法論に加え、医学系の疫学調査方法論をベースとし、倫理的配慮を要するとともに臨床実践的・政策的エビデンスとして耐えうる堅牢さが求められている。社会的な注目ともに年々その要求水準が高まっている現状にもある。本授業では調査研究初心者に向け一定水準の調査の実施とその成功の手がかり・足がかりとなる知識を教授する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を調べておくこと。事後学習としては授業内容の復習をするとともに印刷教材で指定された課題に取り組むこと。
8911070 **スポーツ社会学（'25）** **渡　正** 〔放送大学客員准教授 順天堂大学先任准教授〕 2025 年度開設科目	2	ラジオ （土）20:15～21:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）3時限 2025年度2学期　68.7点 2026年度1学期　85.2点	現代社会においてスポーツは、単に個人が身体活を行うことにとどまらず、大きな社会現象ととして、様々な意味や価値が付与されている。一方でスポーツは、私達の生活の中に位置付き個々人によって経験されるものでもある。こうした社会現象としてのスポーツ、および人々の経験としてのスポーツのあり方を、歴史や政治・社会との関連や、諸個人の経験に焦点をあて、理解することが重要である。本科目では、スポーツの社会科学的理解に向け、スポーツに関連するトピックについて解説する。
8911100 **健康・スポーツ科学研究（'27）** **関根　紀子** （放送大学教授） **※この科目は「健康・スポーツ科学研究（'21）」の改訂科目です。** **「健康・スポーツ科学研究（'21）」の単位修得者は履修不可** 2027 年度開設科目	2	ラジオ （金）20:15～21:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）3時限	我々が生活する現代社会は様々な情報が溢れ、運動・健康・スポーツに関する最新の研究結果や実践法が数多く紹介されている。これらの情報を正しく理解し生活に取り入れるとともに、自ら健康・スポーツ科学分野の研究に取り組む基礎を築くため、データの解説を通して健康・スポーツの科学的理解を深めることを目指す。はじめに、健康・スポーツに科学的にアプローチするための研究法や生理学的基礎について概説する。次に、生理学研究、疫学研究、身体活動・運動施策などについて、各分野におけるデータを示しながらオムニバス形式で解説する。 ※健康・スポーツ領域について広く学ぶため、大学院科目「スポーツ社会学（'25）」も併せて受講することが望ましい。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学修として、印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。また事後学修として、印刷教材の研究課題に取り組むこと。 ※全 15 回を改訂しています。
8911053 **福祉政策と人権（'22）** **金川　めぐみ** 〔放送大学客員教授 和歌山大学教授〕 2022 年度開設科目	2	ラジオ （日）20:15～21:00 通信指導問題　記述式（直接入力） 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月16日（金）2時限 2025年度2学期　91.5点 2026年度1学期　79.7点	この講義では、20 世紀に形成された福祉政策の歴史的な発展が、人権理念を背景に、その範囲と内容を豊かにしてきたことを理解する。そのうえで、21 世紀の福祉政策の特徴を明らかにするとともに、今後の制度のあり方を立案するための、人権論的な基礎と歴史的背景から見えてくる政策課題を考察することとする。 ※社会福祉についての基礎知識を有し、教育・研究や実践にかかわっている方々への更なる前進の手がかりを提供しようとするものである。したがって、学部における社会福祉関係科目の履修を推奨する。また、生活健康科学プログラムにおかれている科目はもちろん、人間発達科学プログラムの科目、社会経営科学プログラムの科目も、密接に関連しているので、合わせて履修されたい。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、オンラインテキスト（直接入力）形式です。解答記入欄に文字入力することで解答し、提出します。**
6910149 **社会福祉の探究（'24）** **山田　知子** （放送大学特任教授） **川島　聡※** （放送大学教授） ※は専門担当講師 2024 年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は各回の小テスト（50%）、 最終レポート（50%）によって行う。	本講義では社会福祉分野における様々な研究をとりあげながら、どのような視座にたち、どのような方法によって何を明らかにしていくのか、について検討する。各回にゲストをお招きし、各分野の基本的文献を紹介する。社会福祉研究の過去と現在、そして未来を考える。社会福祉施設機関及び関連諸団体等で働く保健医療福祉関係者はもとより、社会福祉サービスの利用者、その家族、また、社会福祉の研究に関心を寄せる一般市民に向けた講義である。本講義をきっかけに多くの人が社会福祉の研究に興味を持ってほしい。 ※生活健康科学プログラムの福祉関連科目の履修は当然であるが、福祉関連の学部科目も履修済みであることが望ましい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

生活健康科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
6910173 **臨床推論（'26）** **山内　豊明** （放送大学教授） **三笘　里香** 〔放送大学客員教授 熊本大学大学院教授〕 **「臨床推論（'16）」の単位修得者は履修不可** 2026 年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、レポート（50%）により行う。	看護師が特定行為を行う場合に必要とされる実践能力の基礎となる知識・技能の向上を図るために、臨床診断学、臨床検査学、症候学について学ぶ。看護師の特定行為研修制度の対応科目のひとつであり、指定の内容を含むものとする。 解剖学・生理学（人体の構造と機能）に関する知識が不可欠な科目であり、それらについての詳細な事前学習を必須とする。さらには病態生理学についての知識も必須とするため、必要となる事前学習を行なった上で受講すること。受講後には実践臨床場面と結びつけるための事後学習を進めること。 ※看護師の特定行為研修科目として利用する場合は、看護師として3～5年以上の実務経験を有する必要がある。この科目を履修するにあたっては「統合医療安全・特定行為実践特論（'19）」「フィジカルアセスメント特論（'26）」「統合臨床病態生理学・疾病概論（'19）」「臨床薬理学特論（'27）」などの科目とあわせて履修することが望ましい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6910165 **フィジカルアセスメント特論（'26）** **山内　豊明** （放送大学教授） **三笘　里香** 〔放送大学客員教授 熊本大学大学院教授〕 **「フィジカルアセスメント特論（'16）」の単位修得者は履修不可** 2026 年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、レポート（50%）により行う。	看護師が適切に特定行為を遂行するために欠かすことのできない身体面に関する情報収集の方法論と所見の解釈についての理論と技能の習得を目指す。看護師の特定行為研修制度の対応科目のひとつであり、指定の以下の内容を含むものとする。 1.　身体診察基本手技の理論 2.　部位別身体診察手技と所見の理論 全身状態とバイタルサイン / 頭頸部 / 胸部 / 腹部 / 四肢・脊柱 / 泌尿・生殖器 / 乳房・リンパ節 / 神経系 3.　身体診察の年齢による変化 小児 / 高齢者 4.　状況に応じた身体診察 救急医療 / 在宅医療 ※解剖学・生理学（人体の構造と機能）に関する知識が不可欠な科目であり、それらについての詳細な事前学習を必須とする。さらには病態生理学についての知識も必須とするため、必要となる事前学習を行なった上で受講すること。受講後には実践臨床場面と結びつけるための事後学習を進めること。 ※看護師の特定行為研修科目として利用する場合は、看護師として3～5年以上の実務経験を有する必要がある。この科目を履修するにあたっては「統合医療安全・特定行為実践特論（'19）」「臨床推論（'26）」などの科目とあわせて履修することが望ましい。 ※高度実践看護師教育課程カリキュラム（共通科目B）として利用する場合は、「フィジカルアセスメント特講演習（'27）」と併せて履修することで『フィジカルアセスメント』の内容に対応する。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6910211 **フィジカルアセスメント特講演習（'27）** **山内　豊明** （放送大学教授） **三笘　里香** 〔放送大学客員教授 熊本大学大学院教授〕 2027 年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、各回の演習（ディスカッション、レポート、シミュレータによる小テスト）（50%）および最終テスト（50%）により行う。	看護師がより進んだ看護実践を遂行するために欠かすことのできない身体面に関する情報収集の方法論と所見の解釈についての理論に基づき、演習をとおして技能の習得を目指す。「フィジカルアセスメント特論」の演習として、実践能力の基礎となる知識・技能の向上を図る。看護師、看護学生、研修医、医学生、その他医療職らの受講を想定している。 ※解剖学・生理学（人体の構造と機能）に関する知識が不可欠な科目であり、それらについての詳細な事前学修を必須とする。さらには病態生理学についての知識も必須とするため、必要となる事前学修を行なった上で受講すること。受講後には実践臨床場面と結びつけるための事後学修を進めること。 ※この科目を履修するにあたっては「フィジカルアセスメント特論」を事前、あるいは同時に履修することを前提としている。なお、資格に関する科目設計上、「特定行為共通科目統合演習（'27）」と一部重複する内容が含まれている。 ※高度実践看護師教育課程カリキュラム（共通科目B）として利用する場合は、「フィジカルアセスメント特論（'26）」と併せて履修することで『フィジカルアセスメント』の内容に対応する。 ※本科目では、オンラインシミュレーターおよびオンライントレーナーを使用して実習を行います。受講にあたっては、動作の安定性のため、使用するブラウザはGoogle Chromeを推奨します。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

生活健康科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
6910181 **臨床薬理学特論（'27）** **柳田　俊彦** 〔放送大学客員教授 宮崎大学教授〕 **「臨床薬理学特論（'17）」の単位修得者は履修不可** 2027 年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、ディスカッション、レポートを含む演習（20%）、小テスト（40%）、および最終テスト（40%）の評価により行う。なお、最終テストを受験するにはすべての演習課題に取り組む必要がある。	薬理学・薬剤学の基礎知識を深め、主要な疾患別の治療薬ならびに予防薬の薬効、作用機構、副作用、リスクマネジメント等、臨床における薬物の理論と実際について学習する。また、小児、女性、高齢者等、年齢による特性、個体差のある薬理作用と主要薬物の安全管理を学ぶ。看護師の特定行為研修制度の対応科目のひとつであり、指定の以下の内容を含むものとする。 1.　薬物動態の理論と演習 2.　主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 3.　主要薬物の相互作用の理論と演習 4.　主要薬物の安全管理と処方の理論と演習 ※年齢による特性（小児／高齢者）を含む ※掲載資料等を参考に事前学修を行った上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう事後学修を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※本科目は、看護師の特定行為研修の共通科目に対応した科目となっている。看護師の特定行為研修科目として利用する場合は、看護師として3～5年以上の実務経験を有する必要がある。この科目を履修するにあたっては「統合医療安全・特定行為実践特論」「臨床推論」「フィジカルアセスメント特論」「統合臨床病態生理学・疾病概論」などの科目とあわせて履修することが望ましい。また、事前に学部開設科目の「疾病の回復を促進する薬」を履修しておくことが望ましい。 ※高度実践看護師教育課程カリキュラム（共通科目B）として利用する場合は、「臨床薬理学特論応用（'27）」と併せて履修することで『臨床薬理学』の内容に対応する。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6910190 **臨床薬理学特論応用（'27）** **柳田　俊彦** 〔放送大学客員教授 宮崎大学教授〕 2027 年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、レポート（50%）の評価により行う。	緊急応急処置、症状調整、慢性疾患管理に必要な薬剤を中心に、薬剤使用の判断、投与後の患者モニタリング、生活調整、回復力の促進、患者の服薬管理能力の向上を図るための知識と看護技術を教授する。主要な疾患別の治療薬ならびに予防薬の薬効、作用機構、副作用、リスクマネジメント等、臨床における薬物の応用について学習する。 1.　薬物動態の理論と演習 2.　主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 3.　主要薬物の相互作用の理論と演習 4.　主要薬物の安全管理と処方の理論と演習 ※年齢による特性（小児／高齢者）を含む ※掲載資料等を参考に事前学修を行った上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう事後学修を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※この科目を履修するにあたっては「統合医療安全･特定行為実践特論」「臨床推論」「フィジカルアセスメント特論」「統合臨床病態生理学・疾病概論」「臨床薬理学特論」などの科目とあわせて履修することが望ましい。また、事前に学部開設科目の「疾病の回復を促進する薬」を履修しておくことが望ましい。 ※高度実践看護師教育課程カリキュラム（共通科目B）として利用する場合は、「臨床薬理学特論（'27）」と併せて履修することで『臨床薬理学』の内容に対応する。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

生活健康科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
6910203 **特定行為共通科目** **統合演習（'27）** **山内　豊明** （放送大学教授） **三笘　里香** 〔放送大学客員教授 熊本大学大学院教授〕 **中村　京太※** 〔放送大学客員准教授 横浜市立大学附属市民 総合医療センター准教授〕 **荒神　裕之※** 〔放送大学客員教授 山梨大学大学院教授〕 **「特定行為共通科目統合演習（'17）」** **の単位修得者は履修不可** ※は専門担当講師 2027 年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、各回の演習（ディスカッション、レポート、シミュレータによる小テスト）（50%）および最終テスト（50%）により行う。	看護師の特定行為研修制度の対応科目である「医療安全学特論」又は「統合医療安全・特定行為実践特論」、「臨床推論」、「フィジカルアセスメント特論」の演習として、実践能力の基礎となる知識・技能の向上を図る。 医療面接・フィジカルアセスメントによる情報収集の方法論と所見の解釈についての理論に基づき、演習を通して技能の習得を目指す。 医療安全に関する理論・原則、医療安全の推進に関わる制度・システム、医療施設における組織的な取組みや実践例、患者との関わりについて、事例検討を通して実践につなげる能力を身につける。 ※看護師の特定行為研修科目として利用する場合は、看護師として3～5年以上の実務経験を有する必要がある。第1回から第6回の事前学修としては臨床推論の基礎知識、フィジカルアセスメントの基礎知識を再確認すること。第7回および第8回の事前学修としてジェームズ・リーズンの4要素、臨床倫理の4原則について可能な範囲で調べること。事後学修としては、各回で学んだことをそれぞれ自身の臨床実践に照らして振り返ること。 ※この科目を履修するにあたっては「臨床推論」、「フィジカルアセスメント特論」、「医療安全学特論」、「統合医療安全・特定行為実践特論」などの科目を事前、あるいは同時に履修することを前提としている。なお、資格に関する科目設計上、「フィジカルアセスメント特講演習（'27）」と一部重複する内容が含まれている。 ※本科目では、オンラインシミュレーターおよびオンライントレーナーを使用して実習を行います。受講にあたっては、動作の安定性のため、使用するブラウザはGoogle Chromeを推奨します。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6910122 **統合臨床病態生理学・** **疾病概論（'19）** **東本　恭幸** （放送大学客員教授） **小川　薫** 〔放送大学客員教授 順天堂大学名誉教授〕 2019 年度第 2 学期開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価と単位認定は、ディスカッション、 レポートを含む演習（20%）、小テスト（40%）、 および最終テスト（40%）の評価により行う。 なお、最終テストを受験するには演習課題をすべて提出する必要がある。 ※オンライン上の学習で評価します。 ※ディスカッションは実名で電子掲示板へ投稿する。	臨床解剖学および臨床生理学、さらには臨床病理学の原則を理解し、年齢や状況に応じた病態の変化や治療の特性を包括的かつ迅速に判断できるよう必要な知識と技術を学修する。また、主要疾患の臨床診断・治療を学ぶ。 1. 主要疾病の病態と臨床診断・治療の概論 脳血管障害／急性心筋梗塞／糖尿病／精神疾患 2. その他の主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論 循環器系／呼吸器系／消化器系／腎泌尿器系／内分泌・代謝系／免疫・膠原病系／血液・リンパ系／神経系／小児科／産婦人科／精神系／感染症／運動器系／感覚器系／その他 3. 救急医療の臨床診断・治療の特性と演習 4. 在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習 看護師の特定行為研修制度の対応科目のひとつであり、精錬化による時間数の減少に対応して、『臨床病態生理学特論』と『疾病・臨床病態概論』を統合し、再構築した科目である。 ※本科目は、厚労省令一部改正（2019.4.26）に伴う【新基準】に対応した「看護師の特定行為研修共通科目」の対応科目である。 そのため、<u>看護師として指定研修機関に所属し特定行為研修を受講する者、又は、特定行為研修の受講を考えている者を履修対象</u>とする。 また、上記省令一部改正前の共通科目旧基準対応科目である「臨床病態生理学特論（'17）」及び「疾病・臨床病態概論（'17）」（以下、「旧基準科目」という）の内容から、共通科目【新基準】として学ぶべき事項に係る内容を統合した科目となっている。 ※<u>本科目と旧基準科目は、学修内容が重複する</u>ため、共通科目【新基準】を受講する必要の無い看護師、又は、<u>看護師以外の学生</u>は、本科目の元になっている旧基準科目の履修登録を推奨する。 なお、本科目の履修にあたっては、「フィジカルアセスメント特論（'26）」を既に習得しているか同時に履修が望ましい、さらに「臨床推論（'26）」の同時履修が望ましい。 ※看護師の特定行為研修に関連する科目の履修を考えている場合は、本学ウェブサイトの「看護師の特定行為研修」をご覧いただき、確認の上で履修登録してください。 ※高度実践看護師教育課程カリキュラム（共通科目B）として利用する場合は、『病態生理学』の内容に対応する。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は、本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

生活健康科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
6910114 **統合医療安全・特定行為実践特論（'19）** **石井　邦子** 〔放送大学客員教授 千葉県立保健医療大学教授〕 **木澤　晃代** 〔放送大学客員准教授 日本看護協会常任理事〕 **山本　武志** 〔放送大学客員准教授 札幌医科大学准教授〕 2019 年度第 2 学期開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 講義、演習の成績評価と単位認定は、ディスカッション、レポートを含む演習（20%）、小テスト（40%）、および最終テスト（40%）の筆記試験における評価により行う。 なお、最終テストを受験するには演習課題をすべて提出する必要がある。インターネットによる受講環境があれば、自宅などでもテスト受験、単位取得が可能である。 ※ディスカッションは実名で電子掲示板へ投稿する。	看護師が適切に特定行為を遂行するために、自らの看護実践を見直しつつ標準化する能力を身につけることを目指す。 特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程（理論、演習）を学ぶ中で以下の内容を統合して学ぶ。 1. 特定行為実践に関連する医療倫理、医療管理、医療安全、ケアの質保証（Quality Care Assurance）を学ぶ ①医療倫理 ②医療管理 ③医療安全 ④ケアの質保証 2. 特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践（Inter Professional Work（IPW））を学ぶ ①チーム医療の理論 ②チーム医療の事例検討 ③コンサルテーションの方法 ④多職種協働の課題 3. 特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ ①特定行為関連法規 ②特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の理論と演習 4. 根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ ①手順書の位置づけ ②手順書の作成演習 ③手順書の評価と改良 ※本科目は、厚労省令一部改正（2019.4.26）に伴う【新基準】に対応した「看護師の特定行為研修共通科目」の対応科目である。 そのため、看護師として指定研修機関に所属し特定行為研修を受講する者、又は、特定行為研修の受講を考えている者を履修対象とする。 また、上記省令一部改正前の共通科目旧基準対応科目である「医療安全学特論（'16）」（2022 年度第 2 学期をもって閉講）及び「特定行為実践特論（'17）」（以下、「旧基準科目」という）の内容から、共通科目【新基準】として学ぶべき事項に係る内容を統合した科目となっている。 ※本科目と旧基準科目は、学修内容が重複するため、旧基準科目を履修済みの場合は、履修にあたっては十分に注意すること。 ※看護師の特定行為研修に関連する科目の履修を考えている場合は、本学ウェブサイトの「看護師の特定行為研修」をご覧いただき、確認の上で履修登録してください。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は、本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6910092 **生活環境情報学基礎演習（'18）** **川原　靖弘** （放送大学教授） **ロペズ　ギヨーム** 〔放送大学客員教授 青山学院大学教授〕 2018年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、オンラインシステム上の選択問題形式「小テスト」（60%）、「レポート」（40%）の提出内容の評価により行う。 ※ディスカッションは実名で電子掲示板へ投稿する。	近年の生活空間における情報通信技術（ICT）の発展と、通信インフラの整備により、生活者は、場所や時間を選ばず、日常的に電子化された情報を享受・発信しながら生活を営んでいる。今日の生活環境で扱うこのような情報の中で、時系列情報と地理空間情報に焦点を当て、その扱い方、表現方法、解析方法の基本的手法を解説する。 ※パソコンの基本的な使い方を知っていて、表計算ソフトでの四則演算の経験、高校卒業程度の数学の知識があれば履修可能です。「if/then」「for,while」などのプログラミングの基本文法の知識があればより理解がしやすいでしょう。 ※この科目を受講するにあたっては、履修登録前に、受講に使用するパソコンを用いて、オープンソースソフトウェア Scilab のインストールと操作、及びオンライン GIS の ArcGIS Online の Web ブラウザでの動作確認を行ってください。 これらの方法について、オンライン授業体験版（https://online-open.ouj.ac.jp/）の「生活環境情報学基礎演習」のページを参照してください。ソフトウェアのインストールと動作確認方法については、個別にサポートできない場合がありますので、オンライン授業体験版は、受講前に体験することを強くお奨めします。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

生活健康科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
6910157 **生活空間情報の表現とGIS** **('24)** **川原　靖弘** (放送大学教授) **山城　興介※** (放送大学客員教授 日本文理大学教授) **岩見　昌邦※** (放送大学客員准教授 和光大学准教授) ※は専門担当講師 2024年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、択一式問題(80%)とレポート(20%)の評価により行う。	情報通信技術の発展とその技術を利用した生活空間におけるインフラ整備により、生活者は、場所や時間を選ばず、日常的に情報の享受と発信が可能になった。このような今日の生活環境で扱う情報の中で、地理空間情報を含む生活情報に焦点を当て、その扱い方、表現方法、解析方法の基本的手法を解説する。 ※関連する科目は「生活環境情報学基礎演習('18)」です。 この科目では、「Exploratory」及び「Arc GIS Online」というソフトウェアを演習に使用します。それぞれのソフトウェアについては、オンライン授業体験版(https://online-open.ouj.ac.jp/)の「生活空間情報の表現とGIS('24)」のページを参照いただき、お持ちのパソコンで説明する操作ができることを確認してから受講登録をしてください。ソフトウェアのインストールと操作方法については、個別にサポートできない場合があります。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6980031 **アカデミック・** **スキルズ('25)** **滝浦　真人** (放送大学教授) **各プログラム教員※** (放送大学教員) **「アカデミック・スキルズ('20)」の単位修得者は履修不可** ※は専門担当講師 2025年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト(60%)、レポート(40%)の合計により行う。	**[「臨床心理学プログラム」以外と共通]** 修士全科生を対象として、修士課程において必要となる学術的なリテラシーに加え、ライティング／サーチング／リーディングの基礎力を涵養する。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めるよう努める。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めるようにする。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できる。 ※「アカデミック・スキルズ('20)」の単位を取得済の場合は履修不可。 ※修士全科生以外は履修できません。(臨床心理学プログラム所属の修士全科生も履修不可。) ※修士全科生の1年次1学期での履修を推奨しています。 なお、新入学予定者以外の修士全科生で履修を希望する場合は、履修登録をする前に研究指導責任者に履修の要否について相談してください。 ※第7、8回については、各プログラム教員毎にグループ分けをし、文献等の講読及びレポート等の課題を課します。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

人間発達科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
8921040 **教育老年学（'22）** **堀　薫夫** 〔放送大学客員教授 大阪教育大学名誉教授〕 2022年度開設科目	2	ラジオ (月)20:15～21:00 通信指導問題　記述式(直接入力) 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日(水)～18日(日)17時 学習センター受験　7月15日(木)3時限 2025年度2学期　77.9点 2026年度1学期　75.2点	エイジングと生涯学習の対話の学問領域である教育老年学の理念と動向、内容、課題などを概説し、社会の高齢化が進む今日における、高齢者学習支援のあり方を概観する。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、オンラインテキスト（直接入力）形式です。解答記入欄に文字入力することで解答し、提出します。**
8921059 **教育行政と学校経営（'24）** **村上　祐介** 〔放送大学客員教授 東京大学教授〕 **勝野　正章** 〔放送大学客員教授 東京大学教授〕 2024年度開設科目	2	ラジオ (火)20:15～21:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　併用式 自宅受験　7月14日(水)～18日(日)17時 学習センター受験　7月15日(木)1時限 2025年度2学期　82.2点 2026年度1学期　77.6点	現代の教育改革と教育のあり方を考える上で、教育行財政制度のしくみと課題を理解しておくことは極めて重要である。本科目は教育行政と学校経営を主な対象とすることで、現代の教育を分析する視点を得ることを目的とする。国と地方の教育政策や教育行政の実情と課題、教育の中核的担い手である教職員の問題、コロナ禍以降の学校を巡る新たな環境と学校経営の課題など、教育行政と学校経営が直面する現代の問題と政策課題を学ぶ。 ※今日の日本における教育改革を国際的動向から理解するために、「教師教育の国際比較（'26）」を受講することが望ましい。
8921083 **グローバル時代の教育文化（'25）** **―世界の中で考える日本の教育―** **恒吉　僚子** 〔放送大学客員教授 文京学院大学副学長〕 2025 年度開設科目	2	ラジオ (水)20:15～21:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)5時限 2025年度2学期　91.8点 2026年度1学期　80.0点	教育、特に国民教育は長らく「国民」を形作り、ある社会において「国民」に必要とされる知識、スキル、価値等の獲得を促し、人間形成を方向付け、世代から世代への「文化」の継承を担ってきたとされています。しかしながら、グローバル化が進む中でこうした「国民」の理解の仕方ではとらえきれない異文化的背景を持つ子ども達の増加、あるいは、国境を越えた形でグローバルな市民を育成するためのコンピテンス、スキルなどの獲得の必要性が国際的にも問題にされるようになりました。こうした変化の中の教育と文化を、本講義では教育社会学、異文化間教育学、教育開発、教育の国際比較の観点から学際的に掘り下げます。 ※社会学の基本的な概念の知識を前提としています。講義の前に放送大学の印刷教材により、扱われている題材について予習してきてください。講義の後でキーワードや講義のポイントなどについて復習してください。
8921091 **成人の発達と学習（'25）** **岩崎　久美子** （放送大学名誉教授） **※この科目は「成人の発達と学習（'19）」の改訂科目です。** **「成人の発達と学習（'19）」の単位修得者は履修不可** 2025 年度開設科目	2	ラジオ (木)23:15～24:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日(水)～18日(日)17時 学習センター受験　7月16日(金)2時限 2025年度2学期　82.4点 2026年度1学期　81.7点	成人期の学習は、主に学校を場として集団的に実施される青少年期の学習とは異なり、自らの課題意識に基づき、生活や経験に根ざした形で個人によって自発的に行われる。 このような成人期における学習の特徴、学習プロセスに影響を与える要因、成人学習理論について、生涯学習の観点から学際的に着目し、その研究動向を紹介する。 ※この科目は、「成人の発達と学習（'19）」の改訂科目です。 放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。 ※事前学習としてはシラバス や印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。 ※改訂回は第1, 15回です。
8921113 **シティズンシップ教育（'26）** **小玉　重夫** 〔放送大学客員教授 白梅学園大学学長・教授〕 2026年度開設科目	2	ラジオ (金)23:15～24:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月15日(木)6時限 2026年度1学期　74.9点	「市民」の在り方を思考する「シティズンシップ」をキー概念として、ソクラテスから現代までの教育思想史を読み直し、シティズンシップ教育を教育思想・教育哲学の視点から問い直す。学校教員を中心に、シティズンシップ教育に関心のある一般の受講者に向けてシティズンシップの教育思想を解説する。 ※本科目は大学院開設科目である。よって事前事後学習に関する留意点としてはまず事前については、テキストの該当部分に目を通し、論点の所在を把握しておくようにする。事後については、テキストに記載の研究課題をてがかりに、関連文献にあたり研究を深める。

人間発達科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
8921105 **教師教育の国際比較（'26）** **佐藤　仁** 〔放送大学客員教授 福岡大学教授〕 **高橋　望** 〔放送大学客員教授 早稲田大学教授〕 2026年度開設科目	2	ラジオ （土）23:15～24:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）6時限 2026年度1学期　86.6点	世界各国・地域では、学力政策を中心とする学校教育の質的向上が目指される中、教師の資質能力に注目が集まり、教師教育の改革が積極的に進められてきた。具体的には、教員養成の修士レベル化、専門職基準の開発、現場実習の長期化などが挙げられる。他方で、教師不足というグローバルに共通する課題に対応すべく、教師教育のあり方を再定位する動きもみられる。本科目では、こうした世界各国・地域で展開する教師教育制度・政策の改革動向を学びながら、国際的な視点から日本の教師教育制度・政策のあるべき方向性を検討していく。 ※事前学習としては、印刷教材を読むことに加えて、ウェブサイト等を通して世界各国で展開している教育の動向を把握すること。事後学習としては、印刷教材で示されている課題に取り組むこと。
8921121 **専門的職業と継続的職能開発（'26）** **橋本　鉱市** （放送大学教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （月）23:15～24:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）5時限 2026年度1学期　80.9点	現代の専門的職業は、社会情勢、技術革新、クライアントからのニーズなどに適切に応えるため、知識や技術などを常にブラッシュアップすることが要請されており、近年では「継続的専門職能開発（CPD :continuing professional development）」の概念に基づきながら、生涯にわたる学習活動が必要であるとの議論や取組が広がってきている。本講義では、わが国における十数種の専門的職業を取り上げ、それぞれのCPDの制度について、その歴史、議論、仕組みなどを中心に考察を掘り下げていく。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を十分行ってください。事前学習として、シラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な概念や用語を把握してください。また事後学習としては、印刷教材で指定された研究課題等に取り組んでください。
6920012 **論文作成のための教育研究（'25）** **橋本　鉱市** （放送大学教授） **日下田　岳史※** 〔放送大学客員准教授 東京大学大学院准教授〕 **中村　知世※** 〔放送大学客員准教授 社会調査支援機構チキラボ特任研究員〕 ※は専門担当講師 2025 年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）と最終レポート（50%）の評価により行う。	教育学分野の大学院生を対象として、論文作成のために必要な量的・質的研究の基本的な視座と方法論を講義する。 ※掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、理解が不十分な部分を残さないよう復習を行いましょう。講義映像で紹介した先行研究や社会調査法の入門書等を参考に学習を深めましょう。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※「人間発達科学プログラム」の教育学領域の大学院生を対象とした科目です。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
8950792 **学校臨床心理学特論（'27）** **丸山　広人** （放送大学教授） 2027年度開設科目	2	ラジオ （水）6:00～6:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）3時限	**［「臨床心理学プログラム」と共通］** 学校臨床心理学は、学校での心理臨床活動をいい、スクールカウンセラーの仕事がその中心にある。しかし、教師であっても保護者であっても、子育てや教育にかかわる人はすべて知っておくべき内容も少なくない。たとえば、いじめ問題や不登校支援、心理教育、他職種との連携などは重要なトピックであり、教育に携わる人は理解しておくべきものである。そこで本講義では、不登校や発達障がいなど苦戦している子どもの心理支援のみならず、その子どもを取り巻く人々への心理支援も含めて幅広く論じる。 ※学部開設科目「心理カウンセリング序説（'21）」と大学院開設科目「臨床心理学特論（'23）」を履修していることが望ましい。事前学修として、印刷教材を読み、不明な用語等を調べておくこと。事後学修として、印刷教材の研究課題に取り組むこと。
8921148 **発達心理学特論（'27）** **―関係性と子どもの社会情緒的発達―** **遠藤　利彦** 〔放送大学客員教授 東京大学教授〕 **「発達心理学特論（'21）」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	テレビ （日）2:15～3:00　（231ch） （土）18:00～18:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）3時限	**［「臨床心理学プログラム」と共通］** 胎児期から思春期頃までの子どもの社会情緒的側面の発達に子どもを取り巻く親子や家族の、そしてまた親密な他者との関係性がいかなる影響を及ぼし得るかについて最新の研究知見に基づきながら概説を行う。 ※事前学修として予め各回のテーマに関わるテキストを読んでおくこと。事後学修として履修内容に関して再度テキストに戻って確認し、かつ関連する具体的な発達事象について考察を深めること。

人間発達科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
8921130 **心理統計法特論（'27）** **小杉　考司** （放送大学客員教授 専修大学教授） **「心理・教育統計法特論('21)」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	ラジオ （日）23:15～24:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）4時限	**[「臨床心理学プログラム」と共通]** 本講義では、心理学研究で用いられる統計的方法を、データの行列表現と確率モデリングという統合的な視点と、データ行列の操作と確率分布の設定という共通の枠組みで理解することを目指す。近年の心理学研究では、複雑な実験デザインや階層的なデータ構造など、高度な統計手法の理解が求められる。本講義は決して易しい内容ではないが、理論的理解と実践を通じて、現代の研究課題に対応できる統計分析の基礎力を養う。 ※学部レベルの心理統計の基礎知識があることが望ましい。事前学修として、教科書の該当章を読み、キーワードを中心に重要な用語を確認すること。事後学修として、学んだ手法の前提条件や解釈のポイントを整理し、身近なデータへの応用を考えること。
8921067 **教育心理学特論（'24）** **進藤　聡彦** （放送大学特任教授） **丸山　広人** （放送大学教授） 2024 年度開設科目	2	ラジオ （水）23:15～24:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）2時限 2025年度2学期　85.2点 2026年度1学期　89.1点	**[「臨床心理学プログラム」と共通]** この科目では、学校教育に焦点を当てて、教科の学習に関わる学習指導と生活面に関わる生徒指導に大別し、学習指導では学習内容の理解を促す教授法や学習への動機づけなどの問題を取り上げる。また、生徒指導では集団としての学級の特徴や教育相談、さらには特別支援教育などの問題について教育心理学の研究で得られた主要な知見を教育実践との関わりのなかで紹介する。 ※この科目と関連の深い「学校臨床心理学特論（'27）」、「発達心理学特論（'27）」、「心理統計法特論（'27）」なども履修するとさらに学習が深まると思います。
8921075 **社会心理学特論（'25）** **森　津太子** （放送大学教授） **「現代社会心理学特論('11)」「現代社会心理学特論('15)」の単位修得者は履修不可** 2025 年度開設科目	2	ラジオ （火）23:15～24:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）6時限 2025年度2学期　90.2点 2026年度1学期　88.9点	**[「臨床心理学プログラム」と共通]** 本科目では、社会心理学の様々な知見について、次の3つの現代的な視点から解説を試みる。第一に、現代の社会心理学がどのようなものなのか、その特徴や動向を紹介する。社会的影響、態度といった社会心理学において古くから重要視されてきたトピックに加え、ステレオタイプ、感情など、近年、研究が活発化したトピックをとりあげる。第二に、現代的な研究アプローチを紹介する。本科目の中心となるのは、情報処理アプローチに基づく社会的認知研究である。さらに、第三の視点として、社会心理学の学際性に着目し、隣接分野である行動経済学、脳神経科学、進化心理学、文化心理学との相互作用について考える。以上を通じて浮かび上がるのは、人間の社会性である。「人間は社会的動物である」というフレーズは何を意味するのか。本科目全体を通じて、考えていきたい。 ※大学（学部）で学習する程度の心理学の基礎知識を有していることが望ましい。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に用語の理解に努めること。事後学習としては印刷教材で指定された研究課題に取り組み、関連する書籍を読んで知識を深めること。
6980031 **アカデミック・スキルズ（'25）** **滝浦　真人** （放送大学教授） **各プログラム教員※** （放送大学教員） **「アカデミック・スキルズ（'20）」の単位修得者は履修不可** ※は専門担当講師 2025年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、レポート（40%）の合計により行う。	**[「臨床心理学プログラム」以外と共通]** 修士全科生を対象として、修士課程において必要となる学術的なリテラシーに加え、ライティング／サーチング／リーディングの基礎力を涵養する。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めるよう努める。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めるようにする。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できる。 ※「アカデミック・スキルズ（'20）」の単位を取得済の場合は履修不可。 ※修士全科生以外は履修できません。（臨床心理学プログラム所属の修士全科生も履修不可。） ※修士全科生の1年次1学期での履修を推奨しています。 なお、新入学予定者以外の修士全科生で履修を希望する場合は、履修登録をする前に研究指導責任者に履修の要否について相談してください。 ※第7、8回については、各プログラム教員毎にグループ分けをし、文献等の講読及びレポート等の課題を課します。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

臨床心理学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
8950733 **臨床心理学特論（'23）** **橋本　朋広** （放送大学教授） **大山　泰宏** 〔放送大学客員教授 学習院大学教授〕 2023年度開設科目	4	ラジオ （木）6:00～6:45（奇数回） （木）6:45～7:30（偶数回） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）4時限 2025年度2学期　74.2点 2026年度1学期　81.4点	心理臨床の活動領域は、保健医療・教育福祉・司法犯罪・産業など幅広くかつ多様である。各活動領域では支援対象が異なるため、必要とされる知識や技法などには相違はあるが、心の専門家としての不可欠な根本的視座というものが存在する。「臨床心理学特論（'23）」では、様々な領域で活動する基盤となる基本的な理論と技法を概説するとともに、臨床心理学の根本的視座、さらには隣接諸科学との関連にまで立ち返り、心理臨床活動の意味について深く考察する。 ※日本臨床心理士資格認定協会の第2種指定校となっているため、この科目は臨床心理学プログラムの修士全科生には必修科目である。
8950768 **臨床心理面接特論Ⅰ（'25）** **ー心理支援に関する** **理論と実践ー** **丸山　広人** （放送大学教授） **橋本　朋広** （放送大学教授） 2025年度開設科目	2	ラジオ （金）6:00～6:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）6時限 2025年度2学期　85.7点 2026年度1学期　87.5点	臨床心理学の知見に基づいて実際に臨床心理面接を実施する際の基本姿勢や技能を説明する。本講義は臨床心理学プログラムにおける必須科目のひとつである。臨床心理学プログラムの修士全科生、臨床心理士を目指して本プログラムの受験を考えている方、臨床心理学を専門的に学ぼうとしている臨床心理士以外の対人援助専門職の方などを対象として想定している。 ※学部開設科目「心理カウンセリング序説（'21）」と大学院開設科目「臨床心理学特論（'23）」を履修していることが望ましい。 ※事前学習として、印刷教材を読み、不明な用語等を調べておくこと。事後学習として、印刷教材の研究課題に取り組むこと。
8950776 **臨床心理面接特論Ⅱ（'25）** **ー心理臨床の実際ー** **村松　健司** （放送大学教授） **大山　泰宏** 〔放送大学客員教授 学習院大学教授〕 2025年度開設科目	2	ラジオ （土）6:00～6:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）1時限 2025年度2学期　89.2点 2026年度1学期　90.2点	実際に臨床心理面接を実施する際の基本姿勢や技能を説明する。本講義は臨床心理学プログラムにおける必須科目のひとつである。臨床心理学プログラムの修士全科生、臨床心理士を目指して本プログラムの受験を考えている方、臨床心理学を専門的に学ぼうとしている臨床心理士以外の対人援助専門職の方などを対象として想定している。 ※学部開設科目「心理カウンセリング序説（'21）」と大学院開設科目「臨床心理学特論（'23）」を履修していることが望ましい。 ※事前学習として、印刷教材を読み、不明な用語等を調べておくこと。事後学習として、印刷教材の研究課題に取り組むこと。
8959960 **臨床心理基礎実習** **丸山　広人** （放送大学教授） **中島　正雄** （放送大学教授） **佐藤　仁美** （放送大学准教授） **村松　健司** （放送大学教授） **波田野　茂幸** （放送大学教授） **高梨　利恵子** （放送大学准教授）	2	面接授業	臨床心理学特論、臨床心理面接特論など印刷教材や放送授業によって学習した理論を、実践に活かす準備のために面接授業で具体的に実習する。ロールプレーを用いた心理面接実習、描画法実習、箱庭療法実習、臨床機関の見学、事例検討等を行い、事例報告書の書き方についても学習する。個々の学生の実習の準備のために、3期に分けて面接授業を行う。 **[「臨床心理学プログラム」所属の修士全科生以外は履修できません。]** ※感染症等の場合を除き、授業の欠席は認めません。 ※この科目は第1学期に科目登録をする必要があります。
8959951 **臨床心理査定演習** **村松　健司** （放送大学教授） **高梨　利恵子** （放送大学准教授）	4	面接授業	臨床心理査定の実際について学習する。 ①　心理的アセスメントとケースフォーミュレーションについて演習を通して学ぶ。 ②　ウェクスラー式知能検査やパーソナリティ検査（質問紙法と投映法）について演習を通して学ぶ。 **[「臨床心理学プログラム」所属の修士全科生以外は履修できません。]** ※感染症等の場合を除き、授業の欠席は認めません。 ※この科目は第1学期に科目登録をする必要があります。

臨床心理学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
8959943 **臨床心理実習** **村松　健司** （放送大学教授） **波田野　茂幸** （放送大学教授） **高梨　利恵子** （放送大学准教授） **丸山　広人** （放送大学教授） **中島　正雄** （放送大学教授） **佐藤　仁美** （放送大学准教授）	2	実習	学外機関における実習。臨床心理学プログラムが委託している全国（北海道から沖縄まで）の実習機関（主として医療機関）において、計90時間の実習を行う。通常は週1日程度、約3か月にわたって実施される。実習内容は機関ごとに異なるが、心理検査実習、初回面接の陪席、病棟実習、デイケア参加、グループ活動への陪席、スーパーヴィジョン、ケースカンファレンス参加、地域援助活動への参加などを含む。実習は臨床心理業務の基礎を現場で体験的に学ぶ貴重な機会であり、担当専任教員と各委託実習機関の臨床心理士（非常勤講師）の指導のもとに行われる。 **[「臨床心理学プログラム」所属の修士全科生以外は履修できません。]** ※この科目は第1学期に科目登録をする必要があります。 ※実習にあたって「臨床心理実習における感染症対策ガイドライン」を確認すること。
8950741 **臨床心理学研究法特論（'23）** **石原　宏** （放送大学客員教授 島根大学教授） **川部　哲也** （放送大学客員教授 大阪公立大学教授） 2023年度開設科目	2	ラジオ （月）6:00～6:45 通信指導問題　記述式（直接入力） 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月16日（金）5時限 2025年度2学期　79.8点 2026年度1学期　82.3点	臨床心理士資格認定協会が定めるところの、臨床心理士養成カリキュラムのうち、A群科目（研究法に関する科目）に対応するものである。多様な研究法をもつ臨床心理学において、研究法を体系的に学ぶとともに、臨床心理学における研究倫理、論文執筆の方法など、実際の論文執筆に直結する事項を学ぶ。 ※学部科目の「心理学統計法（'21）」を学んでいることが望ましい。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、オンラインテキスト（直接入力）形式です。解答記入欄に文字入力することで解答し、提出します。**
8921130 **心理統計法特論（'27）** **小杉　考司** （放送大学客員教授 専修大学教授） **「心理・教育統計法特論('21)」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	ラジオ （日）23:15～24:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）4時限	**[「人間発達科学プログラム」と共通]** 本講義では、心理学研究で用いられる統計的方法を、データの行列表現と確率モデリングという統合的な視点と、データ行列の操作と確率分布の設定という共通の枠組みで理解することを目指す。近年の心理学研究では、複雑な実験デザインや階層的なデータ構造など、高度な統計手法の理解が求められる。本講義は決して易しい内容ではないが、理論的理解と実践を通じて、現代の研究課題に対応できる統計分析の基礎力を養う。 ※学部レベルの心理統計の基礎知識があることが望ましい。事前学修として、教科書の該当章を読み、キーワードを中心に重要な用語を確認すること。事後学修として、学んだ手法の前提条件や解釈のポイントを整理し、身近なデータへの応用を考えること。
8921148 **発達心理学特論（'27）** **―関係性と子どもの社会情緒的発達―** **遠藤　利彦** （放送大学客員教授 東京大学教授） **「発達心理学特論('21)」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	テレビ （日）2:15～3:00　（231ch） （土）18:00～18:45　（232ch） 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）3時限	**[「人間発達科学プログラム」と共通]** 胎児期から思春期頃までの子どもの社会情緒的側面の発達に子どもを取り巻く親子や家族の、そしてまた親密な他者との関係性がいかなる影響を及ぼし得るかについて最新の研究知見に基づきながら概説を行う。 ※事前学修として予め各回のテーマに関わるテキストを読んでおくこと。事後学修として履修内容に関して再度テキストに戻って確認し、かつ関連する具体的な発達事象について考察を深めること。
8921067 **教育心理学特論（'24）** **進藤　聡彦** （放送大学特任教授） **丸山　広人** （放送大学教授） 2024 年度開設科目	2	ラジオ （水）23:15～24:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）2時限 2025年度2学期　85.2点 2026年度1学期　89.1点	**[「人間発達科学プログラム」と共通]** この科目では、学校教育に焦点を当てて、教科の学習に関わる学習指導と生活面に関わる生徒指導に大別し、学習指導では学習内容の理解を促す教授法や学習への動機づけなどの問題を取り上げる。また、生徒指導では集団としての学級の特徴や教育相談、さらには特別支援教育などの問題について教育心理学の研究で得られた主要な知見を教育実践との関わりのなかで紹介する。 ※この科目と関連の深い「学校臨床心理学特論（'27）」、「発達心理学特論（'27）」、「心理統計法特論（'27）」なども履修するとさらに学習が深まると思います。

臨床心理学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
8921075 **社会心理学特論（'25）** **森　津太子** （放送大学教授） **「現代社会心理学特論('11)」** **「現代社会心理学特論('15)」** **の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	ラジオ (火)23:15～24:00 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)6時限 2025年度2学期　90.2点 2026年度1学期　88.9点	**[「人間発達科学プログラム」と共通]** 本科目では、社会心理学の様々な知見について、次の3つの現代的な視点から解説を試みる。第一に、現代の社会心理学がどのようなものなのか、その特徴や動向を紹介する。社会的影響、態度といった社会心理学において古くから重要視されてきたトピックに加え、ステレオタイプ、感情など、近年、研究が活発化したトピックをとりあげる。第二に、現代的な研究アプローチを紹介する。本科目の中心となるのは、情報処理アプローチに基づく社会的認知研究である。さらに、第三の視点として、社会心理学の学際性に着目し、隣接分野である行動経済学、脳神経科学、進化心理学、文化心理学との相互作用について考える。以上を通じて浮かび上がるのは、人間の社会性である。「人間は社会的動物である」というフレーズは何を意味するのか。本科目全体を通じて、考えていきたい。 ※大学（学部）で学習する程度の心理学の基礎知識を有していることが望ましい。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバス や印刷教材に示されたキーワードを中心に用語の理解に努めること。事後学習としては印刷教材で指定された研究課題に取り組み、関連する書籍を読んで知識を深めること。
8950784 **司法矯正・** **犯罪心理学特論（'26）** **橋本　和明** （放送大学客員教授 国際医療福祉大学大学院教授） **※この科目は「司法矯正・犯罪心理学特論（'20）」の改訂科目です。** **「司法矯正・犯罪心理学特論('20)」** **の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	ラジオ (火)6:00～6:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月15日(木)1時限 2026年度1学期　93.5点	少年法などの法的な知識を習得し、司法や矯正の関係機関の機能と役割、犯罪や非行、犯罪被害についての基本的事項を理解する。また、離婚や子どもを巡る家庭紛争についての問題解決方法、支援のあり方などを概説できるようにする。さらに、司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理に関する支援について説明でき、司法矯正・犯罪領域における臨床心理学的アプローチを概説できるようにする。臨床心理士・公認心理師受験希望者だけでなく、司法矯正・犯罪分野における臨床心理学的実践と研究に関心を持つ人々をターゲットとする。 ※事前学習では印刷教材を読み、理解のしにくかったところを明確にし、事後学習ではキーワードを中心に概念や用語の理解を深めることが大切である。 ※改訂回は第2、3、4、5、6、7、8、10、11、12、13、15回です。
8911045 **精神医学特論（'22）** **石丸　昌彦** （放送大学名誉教授 北千住旭クリニック院長） 2022 年度開設科目	2	ラジオ (水)19:30～20:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月15日(木)6時限 2025年度2学期　78.3点 2026年度1学期　74.2点	**[「生活健康科学プログラム」と共通]** 精神医学は、精神疾患の診断や治療のあり方を検討する深くて広い学問である。本科目では精神医学の基本的な考え方を紹介したうえで、今日見られる代表的な疾患を事例とともにとりあげ、診断と治療の基本的な流れを解説する。個人の病理と社会のあり方との関わりにも随時言及する。 ※本科目と関連の深いものとして学部科目「精神疾患とその治療（'26）」がある。本科目のいわば基礎編にあたるもので、あらかじめ履修することを条件とはしないが、同科目程度の内容を学習してから本科目に進むと効率的である。あわせて日頃から健康や医学の問題に関心をもち、心身の健康について広く学ぶことが望ましい。
8950725 **保健医療心理学特論（'22）** **―保健医療分野に関する** **理論と支援の展開―** **小林　真理子** （放送大学客員教授 聖心女子大学教授） 2022 年度開設科目	2	テレビ〈字〉 (土)2:15～3:00　(231ch) (金)18:00～18:45　(232ch) 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月15日(木)5時限 2025年度2学期　74.8点 2026年度1学期　76.5点	医療の進歩に伴って、精神科医療のみならず身体科医療や地域保健などさまざまな領域での心理的支援のニーズが高まってきている。本科目では、保健医療分野での業務の特徴や職域の紹介、さまざまな実践現場での心理支援や課題について解説する。多職種と連携し、チーム医療を実践していく中で臨床心理士・公認心理師に求められる役割について考える。 ※学部科目「今日のメンタルヘルス（'27）」、大学院科目「臨床心理学特論（'23）」、「臨床心理面接特論Ⅰ（'25）」、「臨床心理面接特論Ⅱ（'25）」を履修することをお勧めする。

臨床心理学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
8950806 **障害児・障害者心理学特論（'27）** **大六　一志** （放送大学客員教授 NPO 法人 LD・Dyslexia センター顧問） **山中　克夫** （放送大学客員教授 筑波大学教授） **※この科目は「障害児・障害者心理学特論（'19）」の改訂科目です。** **「障害児・障害者心理学特論（'19）」の単位修得者は履修不可** 2027年度開設科目	2	ラジオ （日）6:00～6:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）2時限	障害のある人に臨床心理学的援助を提供するにあたって必要な基本的知識を講義する。まず概論として、臨床心理士の役割、障害や発達のとらえ方について述べる。次に、検査や観察、面接によるアセスメントの考え方について説明する。さらに、発達障害、高次脳機能障害、認知症などを中心として、その概念（状態像）や支援方法について解説する。障害のある本人だけでなく、周囲の人々や環境についてのアセスメントと理解、支援についても述べる。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材で学習すること。事前学修では、印刷教材の各回冒頭の要約を読み、また、シラバスや印刷教材に示されたキーワードが出てくる箇所を把握する。事後学修では、印刷教材に示された研究課題に取り組む。 ※改訂回は1、2、4、5、7、8、10、11、12、14、15回です。
8950792 **学校臨床心理学特論（'27）** **丸山　広人** （放送大学教授） 2027年度開設科目	2	ラジオ （水）6:00～6:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）3時限	**［「人間発達科学プログラム」と共通］** 学校臨床心理学は、学校での心理臨床活動をいい、スクールカウンセラーの仕事がその中心にある。しかし、教師であっても保護者であっても、子育てや教育にかかわる人はすべて知っておくべき内容も少なくない。たとえば、いじめ問題や不登校支援、心理教育、他職種との連携などは重要なトピックであり、教育に携わる人は理解しておくべきものである。そこで本講義では、不登校や発達障がいなど苦戦している子どもの心理支援のみならず、その子どもを取り巻く人々への心理支援も含めて幅広く論じる。 ※学部開設科目「心理カウンセリング序説（'21）」と大学院開設科目「臨床心理学特論（'23）」を履修していることが望ましい。事前学修として、印刷教材を読み、不明な用語等を調べておくこと。事後学修として、印刷教材の研究課題に取り組むこと。
8950717 **臨床心理地域援助特論（'21）** **伊藤　亜矢子** （放送大学客員教授 学習院大学教授） 2021 年度開設科目	2	ラジオ （金）6:45～7:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）3時限 2025年度2学期　87.3点 2026年度1学期　82.7点	臨床心理地域援助の考え方やその基礎にあるコミュニティ心理学の理論について学ぶ。また、それらに基づいて支援を行うために必要な技法としてコンサルテーションやコラボレーション等について学び、教育・福祉・医療等の現場における実際について学ぶ。 ※この科目では、実践の実際を紹介するために模擬事例を提示する。しかし、これらの事例は数多くの臨床経験に基づいて創作されたものであり、テキストや映像からクライエントを特定しようと憶測しないでいただきたい。

社会経営科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
8931011 **経済政策（'22）** **松原　隆一郎** （放送大学特任教授） **※この科目は「経済政策（'17）」の改訂科目です。** **「経済政策（'17）」の単位修得者は履修不可** 2022年度開設科目	2	ラジオ （土）6:45～7:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）6時限 2025年度2学期　69.8点 2026年度1学期　83.8点	経済学では、経済政策はもっぱら市場では行いえないことがらを補完するとされている。また政策を設計する際の目標は、合理的な個人が効率的に幸福を追求することとされている。つまり市場も政策も、ともに個人の幸福追求の道具とみなされている。しかし自然環境や人間関係、文化伝統といった市場が前提とせざるをえない事柄は、いずれも道具や設計の対象にはなりえない。また不確実性が強いと、効率性の追求は幸福を引き下げかねない。それらをも考察の視野におさめるならば、経済政策はどのようなものになるだろうか。全15回で考察してみたい。 ※全15回を改訂しています。
8931062 **公共政策（'26）** **砂原　庸介** （放送大学客員教授 神戸大学教授） **手塚　洋輔** （放送大学客員教授 大阪公立大学教授） **「公共政策（'22）」の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	ラジオ （日）6:45～7:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月16日（金）4時限 2026年度1学期　72.7点	公共政策が社会の中でどのように形成され、社会に対してどのような影響を与えているかを描き出す。公共政策は、政府だけがその担い手になるのではなく、社会における様々なアクターとの協力関係を前提に構築されている。その全体像を次のように理解していく。すなわち、（1）情報・金銭・人間・法的権限という資源の観点から公共政策と社会との接点について説明し、（2）政府のみならず中間団体や市場を通じて公共政策がどのように実現しているかを検討し、（3）そのような公共政策がどのように形成され変化しうるのかを論じる。 放送教材による学習の前後（可能な限り前）に印刷教材による学習を行うこと。事後学習として印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。
6930093 **都市社会構造論（'23）** **北川　由紀彦** （放送大学教授） **「都市社会構造論（'18）」の単位修得者は履修不可** 2023年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（70%）、最終レポート（30%）の評価により行う。	都市社会学の研究方法、学説史、研究の最近の動向等について論じる。併せて、都市・地域社会に関する具体的なトピックをいくつか採り上げて、そのトピックに関する最新の研究成果についても論じる。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6930026 **環境工学（'19）** **迫田　章義** （放送大学客員教授 東京大学名誉教授） 2019年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 毎回の講義中に出題される課題について講義後に自習し、ミニレポートを提出する。それらの提出状況および内容等で成績評価を行う。	**[「自然環境科学プログラム」と共通]** 地球環境問題、再生可能資源・エネルギー、大気環境、環境材料、リサイクル、循環型社会など、持続可能な社会を実現するために必要な分野におけるこれまでの経緯と最近の最先端の研究を、それぞれの専門家が紹介・解説し、環境問題と環境工学を俯瞰的に考える。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
8931054 **環境と社会思想（'26）** **桑田　学** （放送大学教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （月）6:45～7:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月16日（金）3時限 2026年度1学期　73.0点	現代の産業活動に伴う自然破壊や気候変動は、「人新世」と呼ばれる新たな地質時代の到来とも言われるほどに、地球に後戻り不可能な変化をもたらしている。なぜ人間の経済・産業活動は地球にそれほどのダメージを及ぼす力をもつにいたったのか。また人間による生態環境の破壊は歴史的にどのような形で論じられてきたのか。本講義では、科学 / 技術、植民地主義、産業革命、市場と社会、成長・開発、リスクと正義などの論点を軸に、主にヨーロッパの社会・経済思想の歴史を批判的に再考し、これを通じて現代の環境思想の論争点を考える。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材を必ず読んでおくこと。とくに印刷教材で示されたキーワードについては自ら調べ用語の意味を十分に把握すること。

社会経営科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
6930034 **実践的都市景観形成論（'19）** **宮城　俊作** （放送大学客員教授 設計組織 PLACEMEDIA パートナー） 2019年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、各回の授業において課す小テスト（45%）と最終課題に関するレポート（55%）の評価により行う。	都市景観の形成によるまちづくりをリードするためのより実践的な視点から、 ①都市景観形成の契機となる事業や制度のしくみと留意点 ②都市景観を形成する様々な空間の立地類型にもとづく空間構成のありかた ③都市景観を形成する様々な物理的な要素の意匠を評価する視点 ④都市景観形成の担い手と社会的なしくみ、について国内外の多様な実例をあげながら講述する。 ※受講期間中は、身近な都市景観等について日常的に意識して観察し、必要に応じて写真撮影などをしておくこと。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
8931070 **食農産業の新たな展開（'26）** **―地域資源を活かして経済・社会を再生する―** **北川　太一** （放送大学客員教授 摂南大学特任教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （火）6:45～7:30 通信指導問題　記述式（直接入力） 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）1時限 2026年度1学期　75.6点	本講義では、地域産業の中でもとくに食と農にかかわる産業（食農産業）に焦点を当てて、農業および食料、6次産業化や農商工連携、これらを総体的に把握するフードシステムや食農産業が展開する場としての地域社会を考察の対象とする。その際、食農産業にとって重要な有形無形の地域資源の活用と、それを支える主体の役割について、理論と実践（ケース）の両面からアプローチする。 ※履修にあたっての予備知識は、特に必要ない。放送教材による学習の前後に、印刷教材にもとづいて次の学習を行うこと。①事前学習として「学習のポイント」と「キーワード」で講義の概要と重要語句を把握する。②事後学習として「学習課題」について考えてみる。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、オンラインテキスト（直接入力）形式です。解答記入欄に文字入力することで解答し、提出します。**
6930115 **45分で読む経済思想史（'27）** **松原　隆一郎** （放送大学特任教授） 2027年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（70%）、レポート（30%）の評価により行う。	経済思想史の古典に対する最新の解釈が述べられた文献を各回で専門家とともに読む。主任講師は全回に対話役として参加し、質問を行う。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学修を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう事後学修を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できる。 ※本科目は「社会経済の基礎（'25）」、「環境と社会思想（'26）」と関連がある。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6930077 **法律学文献講読（'21）** **李　鳴** （放送大学特任教授） 2021年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、レポート（50%）の総評により行う。	本科目は、主として法学系科目を履修し学位論文を執筆する大学院生（修士）を念頭に、法律学文献の講読を通して、法学系の研究活動に共通して必要な文献の読み方、ポイントの捉え方、研究手法など法学文献講読の方法論を身につけることを目的とします。加えて、自分の研究分野からより広く他の研究分野へ視野を広げることも図ります。 本科目の前半では法律学学術論文の文献、後半では判例研究の文献を使って指導します。 ※次の指定教材について、電子データ（PDF）を開講後に配布いたします。 指定教材Ⅰ：李鳴「保険法における告知義務および告知義務違反による解除の法的構成」『放送大学研究年報』第35号（2018）pp.37－60 指定教材Ⅱ：李鳴「遺言による共済金受取人の変更に伴う諸問題」『法学研究』第92巻12号（2019）pp.103－126 ※参考文献 李鳴『一般市民のための法学入門』（放送大学教材）（放送大学教育振興会・2023） ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6930050 **保険法（'22）** **李　鳴** （放送大学特任教授） 2022年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、選択式小テスト（50%）、レポート（50%）の総評により行う。	保険法は、保険契約に関する一般的なルールを定めた法律であり、さらには約款によって多くの事柄が規定されるという実務に密着した特殊な法領域である。したがって、この授業の目的は、保険契約を中心に保険法の基本的知識の修得およびそれを前提とした問題解決のための応用能力の育成である。 各回においては、講義のねらい、キーワード、まとめ（理解するポイント）が提示される。履修者は、オンラインでの講義映像を視聴しながら学修する。終わりに理解度を確認するために選択式練習問題を行った上で、選択式小テストを実施する。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトを参照のこと。 ※印刷教材はありません。

社会経営科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
8931020 **現実と向き合う政治理論（'22）** **山岡　龍一** （放送大学教授） **大澤　津** 〔放送大学客員教授 北九州市立大学教授〕 2022年度開設科目	2	ラジオ （水）6:45～7:30 通信指導問題　記述式（郵送） 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月16日（金）1時限 2025年度2学期　69.0点 2026年度1学期　68.5点	分析的政治理論を中心に、現代の政治理論の概要を提供する。理論の説明に関して、現実の諸問題を取り上げ、実際に理論が適用されている事例から、政治理論の営みを理解できるようにする。その上で、理論と現実が連結される方法を意識しながら、政治理論の方法的問題を検討する。こうして、理論と実践のあいだの往復関係を意識しながら、現代における政治理論の展開を概説する。 **※この科目の通信指導問題の解答および提出は郵送のみとなります。送付する通信指導問題冊子に解答を記入し、提出してください。**
8931089 **日本の人的資源管理（'27）** **原田　順子** （放送大学教授） **平野　光俊** 〔放送大学客員教授 大手前大学学長〕 2027年度開設科目	2	ラジオ （木）12:00～12:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）2時限	人的資源管理とは、継続事業体（going concern、Betrieb（ドイツ語））において、人を対象とした管理の仕組みを総称した概念である。市場において営利を目的として事業を営む企業の経営においては、この人的資源管理がいち早く発達し、経営学の中でも多くの知識が蓄積されてきた。人的資源管理の変遷、役割等について、企業経営の基本的概念とともに説明していく。また、関連する現代的トピックも取り上げて多面的に学習する。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による事前・事後学修を行うこと。事前学修としては印刷教材に示されたキーワードを把握すること。事後学修としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと。過去の放送授業「人的資源管理（'14）」「人的資源管理（'18）」「人的資源管理（'22）」を改変した部分が含まれることを理解したうえで履修いただきたい。
6980031 **アカデミック・スキルズ（'25）** **滝浦　真人** （放送大学教授） **各プログラム教員※** （放送大学教員） **「アカデミック・スキルズ（'20）」の単位修得者は履修不可** ※は専門担当講師 2025年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、レポート（40%）の合計により行う。	**［「臨床心理学プログラム」以外と共通］** 修士全科生を対象として、修士課程において必要となる学術的なリテラシーに加え、ライティング／サーチング／リーディングの基礎力を涵養する。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めるよう努める。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めるようにする。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できる。 ※「アカデミック・スキルズ（'20）」の単位を取得済の場合は履修不可。 ※修士全科生以外は履修できません。（臨床心理学プログラム所属の修士全科生も履修不可。） ※修士全科生の1年次1学期での履修を推奨しています。 なお、新入学予定者以外の修士全科生で履修を希望する場合は、履修登録をする前に研究指導責任者に履修の要否について相談してください。 ※第7、8回については、各プログラム教員毎にグループ分けをし、文献等の講読及びレポート等の課題を課します。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

人文学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
8981060 **日本文化と思想の展開 ―内と外と（'22）** **魚住　孝至** （放送大学名誉教授） 2022年度開設科目	2	ラジオ （土）12:00～12:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　併用式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）4時限 2025年度2学期　62.9点 2026年度1学期　71.4点	原始から現代までの日本文化と思想の展開の概要を捉えてみたい。日本思想は、仏教や儒教を、近代からは西洋思想を取り入れてきたが、それぞれの受容の仕方が独特であり、日本化していった様相が見られる。文学・芸術・武道などの具体的な文化が形成される際にも、それらの思想や概念が重要な働きをしている。日本の風土的・歴史的条件を考えた上で、それぞれの時代の新しい文化や思想を担った代表的人物や作品に焦点を当てて、日本の文化と思想の流れから捉えるとともに、今日的な意味を考え直してみたい。 ※日本文化の具体的な内容や作品に関しては、学部テレビ科目「文学・芸術・武道にみる日本文化（'19）」を参考にして下さい。
8981086 **西洋美術史学の歴史と方法（'26）** **船岡　美穂子** （放送大学准教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （金）12:00～12:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　併用式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）1時限 2026年度1学期　83.6点	西洋美術史学の学問としての歴史をたどるとともに、調査研究のための方法論を実践的に学ぶ講義である。美術作品の鑑賞を楽しみ、作品の理解をめざして考察し評価し、それらを言葉で記述しようとすることは、早くも古代からさまざまに試みられ、美術史学が一学科として成立し体系化されたのは近代のことであった。 各時代の人々がどのように作品を価値づけて語ってきたのか、近代的な美術史研究がいかにして生まれ、時代精神や社会的要請とどのように結びつきながら展開したのかを学ぶ。また、近代以降の美術史学の代表的な研究者とその業績、方法論を解説する。具体的な美術作品を題材とした調査研究、方法論を応用した分析や考察の事例も取り上げて論じるため、印刷教材をはじめとする書籍に掲載された図版を適宜参照することが望ましい。西洋美術史にかんする基礎的な知識があり、さらに専門的に学ぶことを目的とした受講者を主な対象とする。 ※具体的な作品に応じた考察が必要となるため、印刷教材をはじめとする書籍、またインターネット等に掲載された図版も適宜参照することが望ましい。学部開設科目ではあるが、芸術関係の科目である「西洋の美学・美術史（'24）」、「日本美術史の近代とその外部（'18）」、「西洋音楽史（'21）」、「文学・芸術・武道にみる日本文化（'19）」の履修を推奨する。美術をはじめとする芸術に興味があり、高校卒業程度の西洋史の基礎知識を有していることが望ましい。 事前・事後の学習として、放送教材による学習とあわせて印刷教材による学習を行うこと。事前学習として、基礎的な概説書等で西洋美術史の基礎知識を確認して補うこと。また、シラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心として重要な用語とその意味を理解すること。
8981108 **日本史の基本史料を読む（'27）** **杉森　哲也** （放送大学教授） 2027年度開設科目	2	ラジオ （日）12:00～12:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）2時限	本科目は大学院では唯一の日本史科目であり、古代から近代に至る日本史を対象とする。日本史の学習・研究において、歴史研究の素材である史料を正確に読解し理解することは、最も基本的な作業である。そこで本科目では、古代から近代に至る各時代の基本的かつ重要な史料を取り上げ、それらを読み解く基礎について学習する。 ※本科目とあわせて、歴史学科目である「韓国朝鮮史研究の論点（'26）」「西洋中近世史（'27）」の履修を推奨する。また学部の日本史科目である「古代中世の日本（'23）」「近世の日本と世界（'26）」「日本の近現代（'27）」も、可能であれば履修することを勧める。そして毎回の事前学修として、必ず印刷教材を読んでおくことを求める。また事後学修として、印刷教材を読み直すとともに、掲載史料は音読していただきたい。
8981078 **韓国朝鮮史研究の論点（'26）** **三ツ井　崇** （放送大学客員教授 東京大学教授） 2026年度開設科目	2	ラジオ （月）12:00～12:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）3時限 2026年度1学期　53.9点	本講義は、韓国・朝鮮史に関する学部程度の知識を備えたうえで、さらに韓国・朝鮮の歴史に対する理解を深めることをめざす。具体的には、概説的・網羅的に扱うのではなく、現在の研究水準を分かりやすく紹介するとともに、論点となっているさまざまな事柄について、それがなぜ議論になっているのかを明らかにする。また、取り上げる主題についても、それを理解することが朝鮮についてだけでなく、日本を含めた東アジアの歴史と社会に対する理解を深めることを意図する。 ※事前に、韓国・朝鮮史研究の通史・概説書等に触れ、韓国・朝鮮史の基本的な流れについてあらかじめ理解しておくこと。また、日本史・東洋史関係の科目についても履修しておくとよい。 事前学習としてシラバスや印刷教材に記されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習として印刷教材に指定された課題に取り組むこと。
8981094 **西洋中近世史（'27）** **河原　温** （放送大学特任教授） **皆川　卓** （放送大学客員教授 法政大学教授） 2027年度開設科目	2	ラジオ （火）12:00～12:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）5時限	人文学プログラムにおける歴史学の専門科目として、歴史学の方法について学ぶとともに、外国史として前近代ヨーロッパの歴史を連続的かつ長期的な視点で学ぶ。 ※履修することが望ましい科目は、「近世の日本と世界（'26）」「ユーラシアのなかの中国史（'26）」、「アメリカ史：世界の中で考える（'24）」「西アジアの歴史（'24）」など。 ※放送教材による学修の前後に印刷教材による学習を行うこと。また事前学修としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な歴史用語を把握すること。事後学修としては印刷教材で指定された課題等に取り組むこと、および印刷教材に挙げられている参考文献についてもできる限り目を通すこと。

人文学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
8981035 **日本文学の研究史（'21）** **島内　裕子** （放送大学名誉教授） 2021年度開設科目	2	ラジオ （水）12:00～12:45 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）1時限 2025年度2学期　79.1点 2026年度1学期　81.2点	本科目は、日本文学を研究しようとする学生を、主たる対象として、ある作品がどのように研究されてきたかを通史的に解説する。文学研究の始発は、国文学の場合、まず、平安時代の『古今和歌集』『伊勢物語』『源氏物語』を中心とする注釈研究であった。これらの作品よりも成立が早かった『古事記』や『万葉集』の研究は、ようやく江戸時代になって本格化した。したがって、研究史を学ぶことは、まず注釈研究史を学ぶことであり、本科目の構成も、その点に注意を喚起するように組み立ててある。作品により、研究の視点や力点がさまざまに異なるので、文学研究の多様性に触れてほしい。 ※関連する科目としては、「モダニズムの文学と文化（'21）」「日本史の基本史料を読む（'27）」「西洋中近世史（'27）」などがある。
8981043 **モダニズムの** **文学と文化（'21）** **宮本 陽一郎** （放送大学特任教授） 2021年度開設科目	2	ラジオ （木）12:45～13:30 通信指導問題　記述式（ファイル添付） 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月16日（金）2時限 2025年度2学期　83.0点 2026年度1学期　79.5点	20世紀前半の文化の諸相を、文学・音楽・映画・建築・美術・写真などの諸領域を横断しながら、モダニズムを論じる。アメリカ合衆国の文学・芸術が分析の核となるが、しかしこれを文化のグローバル・ネットワークの一環として捉え直すことを主眼とする。 ※印刷教材と放送教材のみによって、履修と単位取得は可能であるが、インターネットを活用した発展的学習を推奨する。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、ファイル添付形式です。解答を記載した添付ファイルを解答提出欄に添付し、提出します。**
8981051 **異文化との出会い（'22）** **滝浦　真人** （放送大学教授） **野崎　歓** （放送大学教授） **※この科目は「異言語との出会い（'17）」の改訂科目です。** **「異言語との出会い（'17）」の単位修得者に対する履修制限はありません。** 2022年度開設科目	2	ラジオ （金）12:45～13:30 通信指導問題　記述式（直接入力） 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月15日（木）5時限 2025年度2学期　79.1点 2026年度1学期　79.1点	言語と文化に関わる営みは、しばしば異文化の存在を意識したり異文化の介在するものとなる。学問研究においても、異文化を通じてもたらされる“他なるもの”が促進剤となることはしばしばであり、異文化との相互参照を手法としたり、時に対象そのものとする領域や方法論が発展し成果が蓄積されてきた。本講義では、そうした異文化との出会いを諸領域に見ながら、事象の捉え方の一断面を浮かび上がらせたい。 ※全15回を改訂しています。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、オンラインテキスト（直接入力）形式です。解答記入欄に文字入力することで解答し、提出します。**
6980023 **文化人類学の最前線（'21）** **大村　敬一** （放送大学教授） 2021年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、レポート（50%）の評価により行う。	大学院科目として、文化人類学の探究の最前線について、博士後期課程での研究の導入にも耐える学問的深度と先進性をそなえたかたちで紹介する。その紹介に際しては、「人新世」という概念のもとで人類の活動と地球の活動が不可分にもつれ合っていることが認識され、「自然／人間（社会・文化）」の二元論に基づく近代の考え方や生き方に再考が迫られている今日の時代状況に即したテーマを取り上げる。具体的には、「自然／人間」の二元論に基づいて建設されるグローバル・ネットワークの隙間に遍在する人間と非人間の他者たちの潜在的な可能性に注目し、そうした近代の枠組みに収まりきらない他者たちの実践を検討することを通して、新たな思考や生き方の枠組みを探究する文化人類学の多様な挑戦を紹介する。 ※学部のコア科目としての「「人新世」時代の文化人類学（'20）」（テレビ）、学部の基礎科目としての「総合人類学としてのヒト学（'18）」（ラジオ）、「フィールドワークと民族誌（'24）」（テレビ）が開講されているので、あらかじめ履修しているか、併せて履修することが望ましい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

人文学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
6980040 **人文学の現在（'25）** **大橋　理枝** （放送大学教授） **宮本　徹※** （放送大学教授） **大村　敬一※** （放送大学教授） **河原　温※** （放送大学特任教授） **小二田　章※** （放送大学准教授） **近藤　成一※** （放送大学特任教授） **杉森　哲也※** （放送大学教授） **滝浦　真人※** （放送大学教授） **鶴見　英成※** （放送大学准教授） **野崎　歓※** （放送大学教授） **船岡　美穂子※** （放送大学准教授） **宮本　陽一郎※** （放送大学特任教授） ※は専門担当講師 2025 年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。各回の小テストは4点満点として計算する。その上で成績評価は小テスト（32%）及び最終レポート（68%）の評価にて行う。	人文学プログラムは哲学、芸術、歴史学、文学、言語学、人類学及びそれらの学際領域など、様々な学問分野を包括しているが、修士課程でそれらの科目を横断的に学ぶ機会は余りない。この科目では人文学プログラムに所属している教員及びゲスト教員によるそれぞれの専門分野の紹介を通して、プログラム全体を俯瞰した形での人文学の学問のあり方を示す。 ※この科目は修士課程レベルで人文学分野の内容を学ぶ人に向けて開講されるものである。 ※人文学の中で興味がある専門分野について、本学教養学部で開講されている関連授業の印刷教材を読んだり、当該分野の入門書を読んだりするなど、事前の学習を行ってからオンライン授業に取り組むこと。また、授業を履修された後には各分野の内容の復習に努めると共に、自分が興味のある分野について更に学習を深めること。 ※「日本文化と思想の展開－内と外と（'22）」「西洋美術史学の歴史と方法（'26）」「日本史の基本史料を読む（'27）」「韓国朝鮮史研究の論点（'26）」「西洋中近世史（'27）」「日本文学の研究史（'21）」「モダニズムの文学と文化（'21）」「異文化との出会い（'22）」「文化人類学の最前線（'21）」などと共に履修することが望ましい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6980031 **アカデミック・スキルズ（'25）** **滝浦　真人** （放送大学教授） **各プログラム教員※** （放送大学教員） **「アカデミック・スキルズ（'20）」の単位修得者は履修不可** ※は専門担当講師 2025年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。成績評価は、小テスト（60%）、レポート（40%）の合計により行う。	**［「臨床心理学プログラム」以外と共通］** 修士全科生を対象として、修士課程において必要となる学術的なリテラシーに加え、ライティング／サーチング／リーディングの基礎力を涵養する。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めるよう努める。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めるようにする。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できる。 ※「アカデミック・スキルズ（'20）」の単位を取得済の場合は履修不可。 ※修士全科生以外は履修できません。（臨床心理学プログラム所属の修士全科生も履修不可。） ※修士全科生の1年次1学期での履修を推奨しています。 なお、新入学予定者以外の修士全科生で履修を希望する場合は、履修登録をする前に研究指導責任者に履修の要否について相談してください。 ※第7、8回については、各プログラム教員毎にグループ分けをし、文献等の講読及びレポート等の課題を課します。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

情報学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
6970141 **知能システム論（'26）** **大西　仁** （放送大学教授） **※この科目は「知能システム論（'18）」の改訂科目です。** **「知能システム論（'18）」の単位修得者に対する履修制限はありません。** 2026年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（45%）、レポート（55%）により行う。	知的情報処理のメカニズムについて、いわゆる人工知能を中心に論じる。計算機にヒトのように知的な情報処理を行わせる研究は、パラダイムシフトを繰り返し、現在ではビジネス、科学、産業、医療等の強力な方法として注目を集めている。技術の歴史的変遷、認知科学、生物学等隣接領域と関連づけて解説し、知的情報処理技術の体系的理解を図る。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※改訂回は、第1、8、9、10、11、12、13、14、15回。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
8971021 **音楽・情報・脳（'23）** **仁科　エミ** （放送大学教授） **河合　徳枝** （放送大学客員教授 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターリサーチフェロー） **「音楽・情報・脳（'17）」の単位修得者は履修不可** 2023年度開設科目	2	ラジオ （月）12:45～13:30 通信指導問題　記述式（直接入力） 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日（水）～18日（日）17時 学習センター受験　7月16日（金）2時限 2025年度2学期　79.7点 2026年度1学期　77.1点	情報学の進展は、音楽をはじめとする文化的事象を、科学的な研究の対象とすることを可能にした。とくに脳科学と連携したその成果は大きく、「音楽とは何か」といった本質的な問題を考察する新しい材料が多出している。そこで、この講義では、最先端の情報学と脳科学を応用して、音楽に対する情報学ならではのアプローチの成果を学ぶ。主任講師らがこれまで蓄積してきた音響映像資料を多用し、体験性情報を重視した講義とする。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、オンラインテキスト（直接入力）形式です。解答記入欄に文字入力することで解答し、提出します。**
8971048 **ソフトウェア工学（'25）** **中谷　多哉子** （放送大学特任教授） **中島　震** （放送大学客員教授 国立情報学研究所名誉教授） **※この科目は「ソフトウェア工学（'19）」の改訂科目です。** **「ソフトウェア工学（'19）」の単位修得者は履修不可** 2025年度開設科目	2	ラジオ （火）12:45～13:30 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）3時限 2025年度2学期　72.5点 2026年度1学期　70.2点	ソフトウェア開発を工学的に行うためのプロセス、手法、品質、生産性、管理と制御、進化に関する技術を学ぶ。本科目では、ソフトウェア開発に関わる様々な課題を技術によって解決することに着目して学習項目を構成する。授業の中では、社会変化に柔軟に対応するソフトウェアを開発するための新しい技術についても紹介する。 ※「問題解決の数理（'27）」「ソフトウェア開発入門（'27）」、その他、プログラミングに関する学部科目の内容を理解していることを前提とした授業である。 ※放送教材を視聴する前の事前学習として、印刷教材の該当する章を読んでおくこと。また、放送教材で学習した後の事後学習では、印刷教材の脚注に示された文献を数件読み、各章末に示された研究課題を解いて、講義の内容を身につけること。 ※全15回を改訂しています。
6970079 **研究のための** **ICT活用（'21）** **高橋　秀明** （放送大学教授） **※この科目は「研究のためのICT活用（'17）」の改訂科目です。** **「研究のためのICT活用('13)」「研究のためのICT活用('17)」の単位修得者は履修不可** 2021年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、中間レポート（15%）、最終レポート（25%）の評価により行う。	大学（院）の研究において、インターネット等の情報通信技術を活用することは必須の時代になっている。本科目では、情報学分野を中心に、研究の方法論を講ずる中で、研究のプロセスのさまざまな場面で役立つ通信情報技術を紹介する。単なるツールの紹介ではなく、研究とは何か？　研究方法論とは何か？ということを絶えず意識しながら、各種の技術やツールの意味について考察を加えたい。 ※学部科目の「ユーザ調査法（'20）」「デジタル情報の処理と認識（'22）」を履修しておくことが望ましい。 ※「研究のためのICT活用（'13）」「研究のためのICT活用（'17）」既修者は履修することができない。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※改訂回は第3、4、5、6、7、8、9回です。

情報学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
6970125 **eラーニングの理論と実践（'24）** **青木　久美子** （放送大学教授） **高橋　秀明※** （放送大学教授） **加藤　浩※** （放送大学教授） **辻　靖彦※** （放送大学教授） **山田　恒夫※** （放送大学名誉教授 教育テック大学院大学教授） **平岡　斉士※** （放送大学准教授） **※この科目は「e ラーニングの理論と実践（'20）」の改訂科目です。** **「eラーニングの理論と実践（'20）」の単位修得者は履修不可** ※は専門担当講師 2024年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（40%）、レポート（30%）、ディスカッション（30%）の評価により行う。 ※ディスカッションは実名で電子掲示板へ投稿する。	コロナ禍で教育や研修のデジタルトランスフォーメーション（DX）が進み、今後eラーニングやオンライン教育はますます普及していくと考えられる。本科目では、eラーニングやオンライン教育を企画・設計・実施するにあたって重要であると考えられる様々な理論を説明するとともに、必要な技術的基礎知識や具体的実践例を、最新の動向を踏まえながら紹介し、今後のeラーニングやオンライン教育の方向性を展望する。 ※改訂回は、第1、2、4、7、8、9、10、11、12、13、14、15回です。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトを参照のこと。 ※ディスカッションは実名で電子掲示板に投稿します。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
8971056 **計算と自然（'25）** **萩谷　昌己** （放送大学客員教授 東京大学名誉教授） 2025年度開設科目	2	ラジオ （水）12:45～13:30 通信指導問題　記述式（ファイル添付） 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）1時限 2025年度2学期　78.9点 2026年度1学期　81.8点	**[「自然環境科学プログラム」と共通]** 自然現象に内在する計算過程について理解するとともに、自然現象を活用した計算の可能性について探求する。情報学の中核にある計算の概念に関して、現存のコンピュータではなく、その普遍的な可能性について、特に自然現象との関係において考察する。オートマトンやチューリング機械など、計算の基礎概念の理解を確認しながら、上述したテーマのもとで各種のトピックについて、時にはゲストの話も聞きながら、解説していく。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としては、シラバスに示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること、また、各章の大まかな展開を理解しておくこと。事後学習としては、印刷教材で指定された課題等に取り組むこと、また、自身の興味に従って参考文献の教科書や専門書を調べること。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、ファイル添付形式です。解答を記載した添付ファイルを解答提出欄に添付し、提出します。**

情報学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
6970150 **データサイエンスの技法（'26）** **―統計的分析と機械学習―** **浅井　紀久夫** （放送大学教授） **辰己　丈夫※** （放送大学教授） **秋光　淳生※** （放送大学准教授） **※この科目は「データの科学（'17）」の改訂科目です。** **「データの科学（'17）」の単位修得者は履修不可** ※は専門担当講師 2026年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（75%）、レポート（25%）の評価により行う。	情報通信技術の発展によって膨大なデータが生成され交換されるようになり、それを分析するための技術的な仕組みが整ってきた。これに伴い日常的にデータ分析が行われ、その結果の解釈に基づいて意思決定や課題解決が図られるようになった。データ分析処理に必要な基本的知識と基盤技術について主に、現象を、統計学に基づくモデルで表現し分析する方法と、データに基づいてモデルを構築し予測や分類を行う方法とを解説する。これらの方法に関連する演習によってこれを実践する。 【事前学習】 データサイエンスの分析手法についてその種類と適用事例を調べよう。 【事後学習】 各回に設置されている学習活動の課題・解説について復習を行い、理解を深めてください。また、公開されているデータセットを使って本授業の中で学習した分析手法を試行しよう。 本授業ではPythonによる演習が含まれ、Python実行環境をご自身で構築できていること、パソコンの基本的操作および設定をご自身でできることが履修の条件となる。Python実行環境の作り方は、オンライン授業体験版（https://online-open.ouj.ac.jp）の「データサイエンスの技法（'26）」を参照して下さい。 ※本授業では数学的知識として線形代数および微分積分の基礎を要する。各回に必要な内容を補足しているが、数学的知識が不足している方は事前に勉強しておくとよい。関連科目として「知能システム論（'26）」、「プログラミング応用（'25）」がある。 プログラミングおよびPythonの文法についての基礎知識が必要である。プログラミング経験の無い方のために、Pythonの基本的文法を学ぶためのWebサイトを用意したので、そちらを先に習得して下さい。アクセス情報は上記のオンライン授業体験版「データサイエンスの技法（'26）」にある。また、オンライン授業の配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として交流フォーラムを利用できる。 ※改訂回は全15回です。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6970095 **サイバーボランティア論（'22）** **―ボランティア活動におけるICT活用―** **山田　恒夫** （放送大学名誉教授 教育テック大学院大学教授） **※この科目は「情報化社会とボランティア活動（'18）」の改訂科目です。** **「情報化社会とボランティア活動（'18）」の単位修得者は履修不可** 2022年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、ディスカッション及びレポートを含む演習（50%）の評価により行う。 ※ディスカッションは実名で電子掲示板へ投稿する。	情報通信技術（ICT）によってサイバー空間がもたらされ、人間の営みが仮想的に拡大している。現実空間において認知されたボランティア活動は、仮想空間においても一定の役割を果たすことが期待される。一方、パンデミックや新たな社会規範の浸透により、現実空間におけるボランティア活動は大きな影響を受けるが、ICTは新たな解決策をもたらした 。本科目の前半（1－8回）では基礎理論やサイバーボランティア活動の事例を解説する。後半（9－15回）は、オンライングループ学習の形式をとり、課題解決型の遠隔実習を実施する。 ※後半の実践編はグループ学習であり、グループとして課題に取り組み、ディスカッションを通して成果を1つにまとめることになる。定期的に（1週間単位で）課題をこなす必要があるので、毎週学習活動に参加できる方に限る。また、本科目はオンライン科目であり、オンライン学習に必要な基本的スキルにくわえ、オンラインでの意見交換（電子掲示板やビデオ会議を使用できること）、発表用スキル（パワーポイントなどのプレゼンテーションソフトでスライド作成ができること）も必要である。本科目ではこうしたスキルに関する補講はしないので、必ず登録前に習得しておくこと。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※全15回を改訂しています。
6970109 **情報とコミュニケーション（'23）** **青木　久美子** （放送大学教授） **高橋　秀明※** （放送大学教授） **「情報とコミュニケーション（'19）」の単位修得者は履修不可** ※は専門担当講師 2023年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、各回小テスト（30%）、レポート（70%）の評価により行う。 ※ディスカッションは実名で電子掲示板へ投稿する。	本科目では、日々進化する情報やコミュニケーションのデジタル化が我々の日常生活や社会の様々な側面に影響を及ぼしていることについて考察する。特にポストコロナ時代において、どのような情報コミュニケーション技術が日常生活や社会基盤を支えているのか、また、どのような背景で現在の状況に至っているのかを理解するとともに、情報コミュニケーション技術が、我々個人の行動、アイデンティティ、コミュニティ形成、政治経済、ビジネス、教育等にどのような影響を及ぼしているのかを考察する。 ※課題の提出期限を順守すること。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※本科目は、各回において、対応する放送授業科目「日常生活のデジタルメディア」（学部科目）の講義映像の視聴を学習活動の一部としています。 ※印刷教材はありません。

情報学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
8971064 **ICTを活用した学習デザイン('27)** **平岡　斉士** (放送大学准教授) 2027年度開設科目	2	ラジオ (木)19:30～20:15 通信指導問題　記述式(ファイル添付) 単位認定試験　記述式 自宅受験　7月14日(水)～18日(日)17時 学習センター受験　7月15日(木)5時限	本科目では、PC、インターネット、生成AIを題材に、ICTの特性によって学習設計の何が変わり、何が変わらないのかを判断しながら、ICTを活用した学習デザインの方法を学ぶ。インストラクショナルデザインに基づき、学習目標・評価方法・教授方略の整合を保った設計案を作成し、ICTを効果・効率・魅力を高める手段として位置づける。 ※学習設計の予備知識は不要だが、ICTに関する基本的な知識を前提とする。 ※事前学修:各回のタスクの内容を把握する。 ※事後学修:各回のタスクに取り組む。中間課題は通信指導で提出を求める。最終課題については単位認定試験で問う。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、ファイル添付形式です。解答を記載した添付ファイルを解答提出欄に添付し、提出します。**
6970168 **情報デザイン特論('27)** **伏見　清香** (放送大学教授) **植村　朋弘※** (放送大学客員教授 多摩美術大学教授) **小早川　真衣子※** (放送大学客員教授 千葉工業大学教授) ※は専門担当講師 2027年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオによる放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト(20%)、最終レポート(80%)の評価により行う。	21世紀、コンピュータ、インターネット、スマートフォンなど多様な情報コミュニケーション環境が私たちの社会を動かす基盤となった。それら環境を構成するウェブ・サービスやソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)は、科学技術のみならず芸術や人文社会などの専門分野がその研究開発に参加することで、私たちが利用したくなる道具(ツール)として実現されている。この講義ではその実現に貢献する「情報デザイン」を学び、そこから芸術と科学、技術と人文社会を横断するデザインの学の可能性を展望すると共に、日本における我々が辿ってきたその歴史も紐解く。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等がある場合はそれを参考に事前学修を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について事後学修を行い、理解を深めてください。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。 ※関連する科目として、学部科目「情報デザイン('26)」がある。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6970117 **教育情報システム設計('23)** **―学習教育データとデジタルエコシステム―** **山田　恒夫** (放送大学名誉教授 教育テック大学院大学教授) **常盤　祐司※** (放送大学客員教授) **緒方　広明※** (放送大学客員教授 京都大学教授) ※は専門担当講師 2023年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 各回の確認テスト(40%)、オンラインハンズオン(WEB上での実習)の出力結果(3回、40%)、最終レポート(20%)を総合的に判断して評価する。 オンラインハンズオン結果の提出方法など詳細は、開講後に指示する。	生涯学習を見据えた次世代学習情報基盤という観点から、学習システムやツールの構成と連携、デジタルエコシステムとしての要件とその相互運用性を保証する国際技術標準、システムのログデータの収集と利用方法(学習解析)について学ぶ。今後、大学等教育機関や企業の研修部門では、学習ログデータを活用する教育情報システムの導入が図られるが、その原理や機能を知ることはよりよい活用につながる。教育分野にとどまらず、システムエンジニアやデジタルコンテンツ開発者を志望する方にも知っておいていただきたい知識をまとめる。 ※オンライン授業科目であるので、オンライン学習環境は本科目受講の前提であるが、本科目の学習には、映像による説明に加えハンズオン(実習)が含まれる。その際、ウェブ上のアプリケーションを使用するため、動画を視聴できる程度の高速インターネット接続を使用できることがのぞましい。開講に先立ち開発環境の構築等は不要である。ハンズオンについては各回の指示にしたがうこと。 ※授業内容から、Python およびJSON、JSON-LDの基礎知識をもっていることがのぞましいが、その習得を本科目履修の前提条件とはしない。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
8971030 **要求工学('24)** **中谷　多哉子** (放送大学特任教授) **大西　淳** (放送大学客員教授 立命館大学教授) 2024年度開設科目	2	ラジオ (金)19:30～20:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日(水)～22日(木)17時 学習センター受験　7月16日(金)6時限 2025年度2学期　67.7点 2026年度1学期　64.6点	ソフトウェア開発における要求工学の技術は、この30年で大きな進展があった。この授業では、要求工学のプロセスを学んだ後、要求獲得、要求の品質保証、シナリオ分析、ゴール指向分析、形式的手法の適用、要求管理などと多岐に渡る領域を網羅して、要求工学の基礎を学ぶ。 ※学部科目「自然言語処理('23)」、大学院科目「ソフトウェア工学('25)」が強く関連する科目である。そのため、これらの科目を共に履修していることが望まれる。

情報学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
6970133 **プログラミング応用（'25）** **鈴木　一史** （放送大学教授） 2025 年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、レポート（50%）の評価により行う。	プログラミング言語 Python の基礎（データ型、演算子、条件分岐、繰り返し処理等）について復習する。そして、主要な Python のパッケージを使った事例について学習する。例として、データの分析や可視化を実現するため、NumPy、pandas、Matplotlib、scikit-learn、TensorFlow、NetworkX 等の簡単なコード事例について学ぶ。 ※シラバスの内容から判断して、Python の基礎的な文法の事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し学習を進めること。また、講義で紹介した Python の外部ライブラリの Web サイトにあるチュートリアル等を参照し、事後学習を行うこと。 ※初歩的なプログラミングについて学習済みの学生を対象とする。変数、データ型、制御構造、関数、ファイル、クラス等について理解しており、Python プログラミング環境（Google Colab 推奨）が事前に準備できることを必須とする。オンライン授業体験版の「プログラミング応用（'25）」を参照すること。（https://online-open.ouj.ac.jp/） ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6980031 **アカデミック・スキルズ（'25）** **滝浦　真人** （放送大学教授） **各プログラム教員※** （放送大学教員） **「アカデミック・スキルズ（'20）」の単位修得者は履修不可** ※は専門担当講師 2025年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、レポート（40%）の合計により行う。	**［「臨床心理学プログラム」以外と共通］** 修士全科生を対象として、修士課程において必要となる学術的なリテラシーに加え、ライティング／サーチング／リーディングの基礎力を涵養する。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めるよう努める。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めるようにする。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できる。 ※「アカデミック・スキルズ（'20）」の単位を取得済の場合は履修不可。 ※修士全科生以外は履修できません。（臨床心理学プログラム所属の修士全科生も履修不可。） ※修士全科生の1年次1学期での履修を推奨しています。 なお、新入学予定者以外の修士全科生で履修を希望する場合は、履修登録をする前に研究指導責任者に履修の要否について相談してください。 ※第7、8回については、各プログラム教員毎にグループ分けをし、文献等の講読及びレポート等の課題を課します。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

自然環境科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
6960030 **現代生物科学（'18）** **加藤　和弘** （放送大学教授） **二河　成男** （放送大学教授） **「現代生物科学（'14）」の単位修得者は履修不可** 2018年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、レポート（50%）の評価により行う。	現代における生物学の進展を踏まえ、生物とそれに関わる諸現象の理解のために重要な事項を講義する。生物に特徴的な現象として、遺伝情報の伝達、エネルギー代謝、物質収支の動的平衡、そして自然選択による進化などがある。分子、細胞、器官、個体、個体群、群集といった生物界の主要な階層に着目しつつ、これらについて論じる。また、現代の生物学と人間生活との関連について、特に生物多様性の観点から説明する。 ※学部における科目の「初歩からの生物学」「生物環境の科学」「生命分子と細胞の科学」「生物の進化と多様化の科学」「植物の科学」「感覚と応答の生物学」などを履修しておくことが望ましい。 ※次の本を指定教材とするため、ご自身で用意する必要があります。大学より受講生の方へお送りすることはいたしません。 松本忠夫、二河成男著『現代生物科学−生物多様性の理解−』 （放送大学教育振興会、2014年、ISBN978-4-595-14029-7）¥3,300（税込） 指定教材については、出版元の放送大学教育振興会のオンラインショップや書店などで購入可能ですが、本学学生は、学習センターを通して購入申込を行うことで、割引価格（定価の1割引）で購入することができます。 購入方法はシステムWAKABA内のキャンパスライフ＞各種届出・申請様式＞印刷教材割引購入申込書類一式をご確認ください。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6960103 **生物の種組成データの分析法（'26）** **加藤　和弘** （放送大学教授） **「生物の種組成データの分析法（'16）」の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、レポート（40%）により行う。	生物の種組成の調査は、地域の生物多様性の現状把握や開発行為に伴う環境影響の評価などを目的として、しばしば行われる。この授業では、こうした調査により得られた種組成のデータから、異なる調査地、あるいは異なる時期の間での種組成や種多様性の比較、種組成の類型化および序列化、さらに、得られた類型や序列を別に計測された環境条件と対応させることによる、種組成変化に関係する要因の推測を行う方法を学び、実習する。このような分析を行う上で基礎となる考え方についても学習する。 ※各回の学習に先だってシラバスでキーワードを確認しておくこと。小テストを実施する一部の回を除き、オンライン教材による学習（練習問題を含む）の後で実習資料をダウンロードし実習課題に取り組むことになる。オンライン教材や小テストを随時復習したうえで課題に取り組むことで、課題を適切に完成させ、よいレポートを書けるようになる。 パソコンの操作が円滑に行えること（特にフリーソフトウェアのダウンロードとインストールが自力で行えること）、Excel（または同様の表計算用ソフトウェア）上で四則計算と簡単な関数計算、データや計算式のコピーとペーストなど基礎的な操作が問題なく行えること、分析により出力されたグラフや表を貼り付けたレポートを、Excelまたは適当な表計算ソフトウェアまたは文書作成ソフトウェアで作成できること。以上の条件を満たしていない場合、学習や課題提出が円滑に行えないことが予想される。 本科目では、データ分析用のソフトウェアR、およびシミュレーションソフトウェアSimRiverを使用する。環境構築の方法は、オンライン授業体験版（https://online-open.ouj.ac.jp/）の「生物の種組成データの分析法（'26）」を参照のこと。ソフトウェアのインストールおよび動作確認については、個別にサポートできない場合があるため、履修登録前にオンライン授業体験版で動作確認を行うこと。 このほか必要な教材は全てオンラインで提供する。なお、本授業の内容を踏まえさらに高度な分析について学ぶ場合には、Daniel Borcard ほかによる「Rによる数値生態学」（共立出版、翻訳書、ISBN-13：978-4320058385）での学習を検討されたい。 生態学分野におけるデータの扱いの基礎的な考え方や方法については「生態学における情報リテラシー（'23）」で扱っている。この分野の経験が浅いかたは、「生態学における情報リテラシー（'23）」を先に履修し、その上で本科目を履修していただきたい。データを入手するための調査の行いかたについては「野外生物調査法（'19）」で学習していただきたい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6960065 **野外生物調査法（'19）** **加藤　和弘** （放送大学教授） 2019年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、レポート（50%）の評価により行う。	野外生物の調査法について、調査の立案から実施、データの整理までの方法を、植生と鳥類群集の調査を主な対象として具体的に紹介し、野外調査を手段とする研究を志す学生や、環境評価、環境コンサルタント等の業務に携わり知識と技術の向上を目指す学生に有益な情報を提供する。加えて、野外での調査研究を事故なく遂行する上で不可欠な安全管理についてのあり方についても説明する。 ※野外調査を通じて得られる生物の種組成データの分析方法については、別に開設されている「生物の種組成データの分析法」で学んでいただきたい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

自然環境科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
6960081 **生態学における情報リテラシー（'23）** **加藤　和弘** （放送大学教授） 2023年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、レポート（50%）の評価により行う。	生態学に関する論文や資料を正しく理解するためには、記述のもとになっているデータ、あるいは観察・実験の記録、といった情報を正しく読み解くことが必要である。自ら行った観察や実験の結果を解釈するためにも、情報の適切な処理が不可欠である。生態学における情報処理というと、統計（数値）解析をはじめとする様々な分析手法が思い浮かぶが、そうした手法を成り立たせている基本的な原理原則の理解や、結果の効果的な表現の方法も学んでおくべきである。この授業では、生態学における情報を扱う原理原則から出発し、基本的な分析方法、結果表現の方法を、学術論文の読解や修士論文執筆を意識しつつ学ぶ。 ※本科目では、Microsoft Excelまたは同等の表計算ソフトを使用する。従って、基本的なパソコンのスキル及び当該ソフトの使用スキルがあることが履修の条件となる。 ※特定の授業科目の履修を前提としない。生態学の分野で取り扱うデータについて基礎的な見方、扱い方を教授する内容である。データの取得の手順については、「野外生物調査法（'19）」で、高度な分析手法については「生物の種組成データの分析法」で、それぞれ学んでいただきたい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
8960640 **現代物理の展望（'19）** **岸根　順一郎** （放送大学教授） **松井　哲男** （放送大学名誉教授） 2025年1月ご逝去 2019年度開設科目	2	ラジオ （土）19：30～20：15 通信指導問題　記述式（ファイル添付） 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）2時限 2025年度2学期　66.7点 2026年度1学期　64.6点	20世紀前半に確立した量子力学と相対性理論は、古典物理学に基づく自然観を根本から変革した。本科目では、素粒子世界から宇宙の広がりに至る様々な階層で起きる物理現象が基本的な物理法則によって普遍的に記述される様子を解説し、現代の自然観へ誘う。現代物理学はまた、量子力学と統計力学の結びつきを経て新しい物質観を生み出した。その成果は産業技術と直結し、今日の電子技術、エネルギー技術の基盤となった。こうした点を包括的に扱い、特に先端的な内容については各研究分野の第一人者を分担協力講師として科目を構成する。 ※学部専門科目「力と運動の物理（'27）」「電気と磁気の物理（'26）」「量子の物理（'27）」程度の内容に親しんでいることが望ましい。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、ファイル添付形式です。解答を記載した添付ファイルを解答提出欄に添付し、提出します。**
6960022 **先端技術のための現代物理学（'18）** **岸根　順一郎** （放送大学教授） 2018年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（30%）、中間レポート（20%）、期末レポート（50%）の評価により行う。	先端技術の最前線は常に変化し続けているが、それを支える物理学の基礎理論は不易である。この科目では、電子技術（エレクトロニクス）、光技術（フォトニクス）、磁気技術（マグネティクス）、スピントロニクスなど先端技術諸分野を学ぶ上での共通基盤となる電磁気学、量子力学、統計力学、固体量子論の基礎理論から一般性のあるテーマを選んで解説する。特に、大学院レベルの数理解析リテラシーを習得することを重視する。 ※学部レベルの力学、電磁気学、量子力学、統計力学を習得していること。具体的には、放送大学学部専門科目のうち「電気と磁気の物理」（1～8章（回））、「量子の物理」（1～8章（回））の内容を、先端技術の視点で見直すプロセスが本科目の内容に対応する。扱う範囲は広いが理論手法は基礎的なレベルに押さえ、物理の基礎が分かっていればついていけるよう工夫したい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6960057 **計算で紐解く物質科学・環境科学（'18）** **橋本　健朗** （放送大学教授） **安池　智一** （放送大学教授） 2018年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、各回ごとの小テスト（40%）および計算実習の結果をまとめたレポート（2回×30%）の評価により行う。	近年、物質環境科学においてその存在感を大きく増しているのが計算機シミュレーションである。本講義では、もっとも微視的な観点から物質環境科学に資する分子の電子状態シミュレーションについて学び、大気化学などで重要となる分光学的知見との橋渡しを行う。実際の計算実習を交えることで実践的な知識・技法を習得し、現代的な正しい分子像に基づくものごとの見方を得る。 ※計算機実習を含むため、コンピュータの操作に慣れていることが望ましい。レポートの提出はオンライン上で電子ファイルの形で行う。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6960049 **宇宙、地球、そして人類（'18）** **大森　聡一** （放送大学教授） **谷口　義明** （放送大学名誉教授） 2026年1月ご逝去 2018年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、15回の講義を受講した後に提出するレポートの評価により行う。	地球、生命や人類は、膨張する宇宙の進化の中から誕生したものである。これらの創生をもたらした物質やエネルギーの源は何か、また、その転化・変遷・循環のしくみはどのようなものかを本科目で講義する。また、本科目では、宇宙の中の惑星の一つとしての地球、宇宙と地球環境および人類文明の関わりについて、トピックを紹介しながら、学際的な仮説について論理を積み上げて検証する方法を学ぶ。 ※地球、太陽系、宇宙に関する基本的な知識をある程度身に付けてから、本科目を履修してほしい。関連する学部の科目としては「太陽と太陽系の科学（'18）」「宇宙の誕生と進化（'19）」「はじめての気象学（'21）」「ダイナミックな地球（'21）」「宮沢賢治と宇宙（'24）」 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

自然環境科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
6960073 **地球を読み解く（'19）** **大森　聡一** （放送大学教授） **谷口　義明** （放送大学名誉教授） 2026年1月ご逝去 2019年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 各回の最後には、小テストまたは小レポートを実施し、各自の学習の確認とする。中間、および最終レポートを2回提出しその評価で成績を決める。	おもに地球の歴史に関わる宇宙地球科学のテーマをとりあげ、分野横断的な視点とそれを研究し解明する過程を含めて講義する。 ※天文学・地球科学の基礎的事項については、放送大学・学部科目の該当項目を参照して自習を求める場合がある。自然環境科学プログラム（宇宙地球領域）の学生は、大学院科目「宇宙、地球、そして人類（'18）」を先に履修していることが望ましい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
8961018 **数理科学（'21）** **ー離散数理モデルー** **石崎　克也** （放送大学教授） **諸澤　俊介** （放送大学客員教授 高知大学名誉教授） **「数理科学（'15）」** **の単位修得者は履修不可** 2021年度開設科目	2	テレビ※〈字〉 テレビ・ラジオによる放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月15日（木）4時限 2025年度2学期　62.0点 2026年度1学期　70.0点	数理科学現象を理解するために、構造や生成過程を数学的手法を拠り所としてモデル化することは近年盛んに行われてきた。本講義では、離散方程式に注目し、数理モデルのなかで数学的発想がどのように生かされているかを考察する。数学的理論の理解のために、応用例を多く取り入れたり、定理の可視化に数式処理ソフトMathematicaなどを利用したグラフィックスを組み込みながら、それぞれの数理モデルや数学的理論を解説する。離散方程式の高度な知識を仮定せずとも取り組めるように、微分方程式との比較をしながら議論を進める。 ※本講義では、かなり基本的な数学的内容にも言及する。数学に不慣れな受講者も自ら手を動かして、理論と理論の間の計算を補うよう心がけていただきたい。同時に、考え方を図式化してみることも推奨する。また、フラクタル図形など基本的な操作の反復合成で記述されるものは、ノートの上やPC上で可視化していただきたい。この講義をきっかけに興味の対象となった数学的内容は学部の講義科目のなかにもあるはずである。受講者が希求力を高めて、改めて学部の内容を復習することも期待している。 ※本科目は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。そのため、受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。 受講環境についての詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。
8961026 **言語と計算（'26）** **隈部　正博** （放送大学教授） **「計算論（'10）」** **「計算論（'16）」** **の単位修得者は履修不可** 2026年度開設科目	2	ラジオ （日）19:30～20:15 通信指導問題　択一式 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）4時限 2026年度1学期　83.3点	最初に、言語、文法とは何かを考える。次に現代言語学の父といわれるチョムスキーの定義した様々な形の文法を学び、それによってどんな言語が生成されるかをみる。次に計算という概念について考える。言語を構成（計算）するための機械であるオートマトンを定義し、様々な種類のオートマトンの形を学ぶ。その後、計算機科学の父といわれるチューリングの定義したチューリング機械を理解し、多くの計算がチューリング機械をつかって表現できることをみる。最後にアルゴリズムとは何かを考える。 ※履修にあたり前提となる予備知識は仮定していないため、数学のみならず、コンピュータや言語に興味のある学生向けの授業でもある。また、放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行う必要がある。事前学習としては印刷教材を通読しておくこと。事後学習としては印刷教材を再読し理解を深め、そこにある練習問題に取り組むこと。
8971056 **計算と自然（'25）** **萩谷　昌己** （放送大学客員教授 東京大学名誉教授） 2025年度開設科目	2	ラジオ （水）12:45～13:30 通信指導問題　記述式（ファイル添付） 単位認定試験　択一式 自宅受験　7月14日（水）～22日（木）17時 学習センター受験　7月16日（金）1時限 2025年度2学期　78.9点 2026年度1学期　81.8点	**［「情報学プログラム」と共通］** 自然現象に内在する計算過程について理解するとともに、自然現象を活用した計算の可能性について探求する。情報学の中核にある計算の概念に関して、現存のコンピュータではなく、その普遍的な可能性について、特に自然現象との関係において考察する。オートマトンやチューリング機械など、計算の基礎概念の理解を確認しながら、上述したテーマのもとで各種のトピックについて、時にはゲストの話も聞きながら、解説していく。 ※放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としては、シラバスに示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること、また、各章の大まかな展開を理解しておくこと。事後学習としては、印刷教材で指定された課題等に取り組むこと、また、自身の興味に従って参考文献の教科書や専門書を調べること。 **※この科目の通信指導問題の出題形式は、ファイル添付形式です。解答を記載した添付ファイルを解答提出欄に添付し、提出します。**

自然環境科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア・放送時間 通信指導問題 出題形式 / 単位認定試験 出題形式 試験期間 / 試験日・時限 過去の単位認定試験平均点	講義概要
6910106 **食健康科学（'21）** **佐藤　隆一郎** （放送大学客員教授 東京大学大学院特任教授） **三浦　豊※** （放送大学客員教授 東京農工大学大学院教授） **下条　直樹※** （放送大学客員教授 千葉大学附属病院アレルギーセンター客員教授） ※は専門担当講師 2021年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、レポート（50%）（第8回のみ）の評価により行う。	**［「生活健康科学プログラム」と共通］** 学部科目「食と健康」と対をなす大学院講義。「食と健康」で学んだ、糖質、タンパク質、脂質、ビタミン、ミネラル、微量非栄養素、食と各種疾患などについて、それらをさらに掘り下げて、詳細に解説する。 ※高校卒業程度の化学の知識を有していることを前提とする。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6930026 **環境工学（'19）** **迫田　章義** （放送大学客員教授 東京大学名誉教授） 2019年度開設科目	2	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 毎回の講義中に出題される課題について講義後に自習し、ミニレポートを提出する。それらの提出状況および内容等で成績評価を行う。	**［「社会経営科学プログラム」と共通］** 地球環境問題、再生可能資源・エネルギー、大気環境、環境材料、リサイクル、循環型社会など、持続可能な社会を実現するために必要な分野におけるこれまでの経緯と最近の最先端の研究を、それぞれの専門家が紹介・解説し、環境問題と環境工学を俯瞰的に考える。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6960090 **自然や環境の諸問題（'25）** **二河　成男** （放送大学教授） **加藤　和弘※** （放送大学教授） **大森　聡一※** （放送大学教授） **橋本　健朗※** （放送大学教授） **安池　智一※** （放送大学教授） **岸根　順一郎※** （放送大学教授） **石崎　克也※** （放送大学教授） **隈部　正博※** （放送大学教授） ※は専門担当講師 2025年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（50%）、レポート課題（50%）の評価により行う。	自然や環境を理解し解決する上で、自然科学や数学の考え方や視点は欠かせない。本科目では自然科学や数学の諸問題を題材として、その理解や解決に必要な考え方や視点を学ぶ。自然や環境に関することに興味をもち、それらを数学や自然科学の考えや手法によって理解や解決を目指す方を対象とする。科学的な考え方や方法がどのようなものか、自然科学や数学における問題が現在の知識でどのように説明されているのか、未解決の課題にどのような方法で研究が行われているかを例示し、自然や環境への興味を深め、学習や研究への動機づけとする。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めてください。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6980031 **アカデミック・スキルズ（'25）** **滝浦　真人** （放送大学教授） **各プログラム教員※** （放送大学教員） **「アカデミック・スキルズ（'20）」の単位修得者は履修不可** ※は専門担当講師 2025年度開設科目	1	オンライン〈字〉 テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。 オンラインでの学習活動により、成績評価を行う。 成績評価は、小テスト（60%）、レポート（40%）の合計により行う。	**［「臨床心理学プログラム」以外と共通］** 修士全科生を対象として、修士課程において必要となる学術的なリテラシーに加え、ライティング／サーチング／リーディングの基礎力を涵養する。 ※シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めるよう努める。また、各回に設置されている学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めるようにする。オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できる。 ※「アカデミック・スキルズ（'20）」の単位を取得済の場合は履修不可。 ※修士全科生以外は履修できません。（臨床心理学プログラム所属の修士全科生も履修不可。） ※修士全科生の1年次1学期での履修を推奨しています。なお、新入学予定者以外の修士全科生で履修を希望する場合は、履修登録をする前に研究指導責任者に履修の要否について相談してください。 ※第7、8回については、各プログラム教員毎にグループ分けをし、文献等の講読及びレポート等の課題を課します。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

【2025 年度以前の入学者向け】
研究指導（修士全科生のみ）

科目名	単位	所属プログラム	科目コード	概　　要
研究指導	8	生活健康科学	8911002	○この科目は2025年度以前に入学された修士全科生のみが履修できます。 ○「研究指導」は２年間にわたり実施されます。 ○第１年次においては、研究レポートの添削指導のほか修士論文の研究テーマおよび研究計画の具体化、研究の遂行に係る指導を行います。第２年次においては、研究レポートの添削指導と研究の遂行に係る指導を引き続き行うとともに、修士論文作成の指導を行います。 ○指導の方法は、対面による直接指導、電子メール、Web会議システム、原稿の郵送等により行います。 ○この科目は、入学学期に科目登録をする必要があります。 ○入学後２年が経過した後にも、「研究指導」を受ける場合には、毎年度第１学期に科目登録を行う必要があります。
		人間発達科学	8921008	
		臨床心理学	8951004	
		社会経営科学	8931003	
		人文学	8981000	
		情報学	8971005	
		自然環境科学	8961000	

【2026 年度以降の入学者向け】
研究演習（修士全科生のみ）

科目名	単位	所属プログラム	科目コード	概　　要
研究演習	8	生活健康科学	8912017	○この科目は2026年度以降に入学された修士全科生のみが履修できます。 ○「研究演習」は２年間にわたり実施されます。 ○「研究演習」では、提出が必須である研究レポートⅠ～Ⅲの作成とそのための学修活動、それぞれのレポートについて実施される報告会等での発表とその準備、ならびに発表に対する質疑応答等を通じて、修士論文（特定課題研究の場合も含む。）作成に向けた基礎的知識・技能を修得します。 ○研究レポートの添削指導の方法は、対面による直接指導、電子メール、Web会議システム、原稿の郵送等により行います。 ○この科目は、入学学期に科目登録をする必要があります。 ○入学後２年が経過した後にも、研究演習を受ける場合には、毎年度第１学期に科目登録を行う必要があります。 ○修士全科生として全員が履修すべき演習科目（必修）です。「研究指導」と合わせて科目登録してください。
		人間発達科学	8922012	
		臨床心理学	8952019	
		社会経営科学	8932018	
		人文学	8982015	
		情報学	8972010	
		自然環境科学	8962014	

【2026 年度以降の入学者向け】
研究指導（修士全科生のみ）

科目名	単位	所属プログラム	科目コード	概　　要
研究指導	0	生活健康科学	8912009	○この科目は2026年度以降に入学された修士全科生のみが履修できます。 ○「研究指導」は２年間にわたり実施されます。 ○第１年次においては、修士論文（特定課題研究の場合も含む。）の研究テーマおよび研究計画の具体化、研究の遂行に係る指導を行います。第２年次においては、研究の遂行に係る指導を引き続き行うとともに、修士論文（特定課題研究の場合も含む。）作成の指導を行います。 ○指導の方法は、対面による直接指導、電子メール、Web会議システム、原稿の郵送等により行います。 ○この科目は、入学学期に科目登録をする必要があります。 ○入学後２年が経過した後にも、研究指導を受ける場合には、毎年度第１学期に科目登録を行う必要があります。 ○修士全科生として提出が義務付けられている修士論文（特定課題研究の場合も含む。）の提出に必要な指導です。 ○単位は付与されません。
		人間発達科学	8922004	
		臨床心理学	8952000	
		社会経営科学	8932000	
		人文学	8982007	
		情報学	8972001	
		自然環境科学	8962006	

事前学修及び事後学修について

事前学修とは、授業科目への理解を深めるために受講する前に行うものです。

一方、事後学修とは、授業を通じて学んだ知識や技術、考え方などを定着させ身につけることを目的として授業科目の受講後に行うものです。

放送大学大学院の授業科目の単位修得を目指される方におかれましては、各授業科目の項目をご覧いただき、学習を進めるようにしてください。シラバスにおいて個々の科目について行われるべき事前学修・事後学修の指示がある場合には、それに従ってください。

【放送授業科目】

放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行ってください。

事前学修としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握するよう努めてください。

事後学修としては、一般的な復習に加えて、印刷教材で指定された課題等に取り組んでください。

【オンライン授業科目】

シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学修を行い、その上で講義映像等を視聴し、学習を進めてください。

また、各回に課される学習活動の課題・解説について、不明な部分を残さないよう復習を行い、理解を深めてください。

オンライン授業システムの配信期間中、同じ科目を履修する学生同士の意見交換の場として、交流フォーラムを利用できます。

【臨床心理査定演習】

授業では、ディスカッション、ロールプレイ、検査体験、検査の解釈法等の学習を行います。事前学修では、それらの実施に必要な事項について調べたり、必要な文献購読をしてもらいます。事後学修では、授業内で提示する応用的な課題に取り組んでもらいます。

【研究指導】

担当教員の指示に従って事前・事後学修を行ってください。

具体的な指示は、担当教員に確認してください。

【研究演習】

担当教員の指示に従って事前・事後学修を行ってください。

具体的な指示は、担当教員に確認してください。

2027年度第1学期大学院修士課程学習センター受験者用の単位認定試験時間割・出題形式一覧

単位認定試験を学習センター等で受験する方のみ、ご確認ください。

※学習センター等での受験についてはp.5をご確認ください。

曜日／時限	2027年7月15日（木）		
	科目コード	科目名	形式
1 9：45 〜 10：35	8921059	教育行政と学校経営（'24）	併用
	8931070	食農産業の新たな展開（'26）	記述
	8950784	司法矯正・犯罪心理学特論（'26）	択一
	8981086	西洋美術史学の歴史と方法（'26）	併用
2 11：00 〜 11：50	8921067	教育心理学特論（'24）	択一
	8931089	日本の人的資源管理（'27）	択一
	8950806	障害児・障害者心理学特論（'27）	択一
	8981108	日本史の基本史料を読む（'27）	択一
		［人的資源管理（'22）］	択一
		［障害児・障害者心理学特論（'19）］	択一
		［日本史史料を読む（'21）］	択一
3 12：45 〜 13：35	8911100	健康・スポーツ科学研究（'27）	択一
	8921040	教育老年学（'22）	記述
	8950792	学校臨床心理学特論（'27）	択一
	8981078	韓国朝鮮史研究の論点（'26）	択一
		［健康・スポーツ科学研究（'21）］	択一
		［学校臨床心理学特論（'21）］	択一
4 14：00 〜 14：50	8911010	家族政策研究（'21）	記述
	8921130	心理統計法特論（'27）	択一
	8961018	数理科学（'21）	択一
	8981060	日本文化と思想の展開−内と外と（'22）	併用
		［心理・教育統計法特論（'21）］	択一
5 15：15 〜 16：05	8921121	専門的職業と継続的職能開発（'26）	択一
	8950725	保健医療心理学特論（'22）	択一
	8971064	ICTを活用した学習デザイン（'27）	記述
	8981051	異文化との出会い（'22）	記述
		［知財制度論（'20）］	択一
6 16：30 〜 17：20	8911045	精神医学特論（'22）	択一
	8911088	看護・保健系調査方法論（'25）	択一
	8921113	シティズンシップ教育（'26）	択一
	8931011	経済政策（'22）	択一

曜日／時限	2027年7月16日（金）		
	科目コード	科目名	形式
1 9：45 〜 10：35	8931020	現実と向き合う政治理論（'22）	記述
	8950776	臨床心理面接特論Ⅱ（'25）	択一
	8971056	計算と自然（'25）	択一
	8981035	日本文学の研究史（'21）	択一
2 11：00 〜 11：50	8911053	福祉政策と人権（'22）	記述
	8921091	成人の発達と学習（'25）	記述
	8960640	現代物理の展望（'19）	択一
	8971021	音楽・情報・脳（'23）	記述
	8981043	モダニズムの文学と文化（'21）	記述
3 12：45 〜 13：35	8911070	スポーツ社会学（'25）	択一
	8921148	発達心理学特論（'27）	択一
	8931054	環境と社会思想（'26）	記述
	8950717	臨床心理地域援助特論（'21）	択一
	8971048	ソフトウェア工学（'25）	択一
4 14：00 〜 14：50	8911096	生活リスク論（'25）	択一
	8931062	公共政策（'26）	記述
	8950733	臨床心理学特論（'23）	択一
	8961026	言語と計算（'26）	択一
		［発達心理学特論（'21）］	択一
5 15：15 〜 16：05	8921083	グローバル時代の教育文化（'25）	択一
	8950741	臨床心理学研究法特論（'23）	記述
	8981094	西洋中近世史（'27）	択一
		［情報デザイン特論（'22）］	記述
		［西洋中世史（'21）］	記述
6 16：30 〜 17：20	8921075	社会心理学特論（'25）	択一
	8921105	教師教育の国際比較（'26）	択一
	8950768	臨床心理面接特論Ⅰ（'25）	択一
	8971030	要求工学（'24）	択一

※［　］は前年度閉講科目の再試験です。

2027年度第1学期 大学院修士課程
学習センター受験者用の単位認定試験時間割 五十音順索引

あ行
ICTを活用した学習デザイン（'27） … 7/15（木）5限
異文化との出会い（'22） …… 7/15（木）5限
音楽・情報・脳（'23） …… 7/16（金）2限

か行
家族政策研究（'21） …… 7/15（木）4限
学校臨床心理学特論（'21）［閉講］… 7/15（木）3限
学校臨床心理学特論（'27） …… 7/15（木）3限
環境と社会思想（'26） …… 7/16（金）3限
看護・保健系調査方法論（'25） …… 7/15（木）6限
韓国朝鮮史研究の論点（'26） …… 7/15（木）3限
教育行政と学校経営（'24） …… 7/15（木）1限
教育心理学特論（'24） …… 7/15（木）2限
教育老年学（'22） …… 7/15（木）3限
教師教育の国際比較（'26） …… 7/16（金）6限
グローバル時代の教育文化（'25） … 7/16（金）5限
経済政策（'22） …… 7/15（木）6限
計算と自然（'25） …… 7/16（金）1限
健康・スポーツ科学研究（'21）［閉講］
…… 7/15（木）3限
健康・スポーツ科学研究（'27） …… 7/15（木）3限
言語と計算（'26） …… 7/16（金）4限
現実と向き合う政治理論（'22）…… 7/16（金）1限
現代物理の展望（'19） …… 7/16（金）2限
公共政策（'26） …… 7/16（金）4限

さ行
シティズンシップ教育（'26） …… 7/15（木）6限
司法矯正・犯罪心理学特論（'26） … 7/15（木）1限
社会心理学特論（'25） …… 7/16（金）6限
障害児・障害者心理学特論（'19）［閉講］
…… 7/15（木）2限
障害児・障害者心理学特論（'27） … 7/15（木）2限
情報デザイン特論（'22）［閉講］ …… 7/16（金）5限
食農産業の新たな展開（'26） …… 7/15（木）1限
人的資源管理（'22）［閉講］…… 7/15（木）2限
心理・教育統計法特論（'21）［閉講］… 7/15（木）4限
心理統計法特論（'27） …… 7/15（木）4限
数理科学（'21） …… 7/15（木）4限
スポーツ社会学（'25） …… 7/16（金）3限
生活リスク論（'25） …… 7/16（金）4限
精神医学特論（'22） …… 7/15（木）6限
成人の発達と学習（'25） …… 7/16（金）2限
西洋中近世史（'27） …… 7/16（金）5限
西洋中世史（'21）［閉講］…… 7/16（金）5限
西洋美術史学の歴史と方法（'26） … 7/15（木）1限
専門的職業と継続的職能開発（'26） 7/15（木）5限
ソフトウェア工学（'25） …… 7/16（金）3限

た行
知財制度論（'20）［閉講］…… 7/15（木）5限

な行
日本史史料を読む（'21）［閉講］ …… 7/15（木）2限
日本史の基本史料を読む（'27） …… 7/15（木）2限
日本の人的資源管理（'27） …… 7/15（木）2限
日本文学の研究史（'21） …… 7/16（金）1限
日本文化と思想の展開ー内と外と（'22）
…… 7/15（木）4限

は行
発達心理学特論（'21）［閉講］…… 7/16（金）4限
発達心理学特論（'27） …… 7/16（金）3限
福祉政策と人権（'22） …… 7/16（金）2限
保健医療心理学特論（'22） …… 7/15（木）5限

ま行
モダニズムの文学と文化（'21）…… 7/16（金）2限

や行
要求工学（'24） …… 7/16（金）6限

ら行
臨床心理学研究法特論（'23）…… 7/16（金）5限
臨床心理学特論（'23） …… 7/16（金）4限
臨床心理地域援助特論（'21）…… 7/16（金）3限
臨床心理面接特論Ⅰ（'25） …… 7/16（金）6限
臨床心理面接特論Ⅱ（'25） …… 7/16（金）1限

※各科目の講義概要はp.58の索引から確認できます。（［閉講］を除く）

メモ（ご自由にお使いください）



2027年度第1学期
放送授業番組表

「2027 年度第 1 学期　放送授業番組表」は BS テレビ、BS ラジオで放送番組を視聴する場合の番組表です。

1. 学期区分

学期	区分	期間
第1学期	授業期間	2027年4月1日（木）～7月14日（水）
	夏期学習期間	2027年7月15日（木）～9月30日（木）

2. 授業期間の放送番組

授業番組を原則として毎週 1 回、全 15 回放送します。
このほか、生涯学習支援番組、告知番組などを放送します。

3. 夏期学習期間の放送番組

復習や、次学期の科目選びの参考となるよう、一部の科目を再放送します。

4. 各種番組案内

通常の授業番組のほかに、次のような番組を放送します。

［生涯学習支援番組］

従来の大学教育の枠組みから離れて、社会人の多様な学びなおしや生涯学習のニーズに応える番組です。

［告知番組］

放送大学からの各種お知らせや、学習に役立つ情報などを提供する番組です。

生涯学習支援番組および夏期学習期間の放送番組などについては、放送大学ウェブサイトにも掲載しています。

本学ウェブサイト →　番組表　https://www.ouj.ac.jp/bangumi/

［生涯学習支援番組］

［年間番組表］

テレビ〔2027年度第1学期　授業期間〕（BS 231ch）　●2027年4月1日（木）～2027年7月14日（水）

時	分	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
6	00	映像コンテンツの制作技術（'25）〈字〉	情報デザイン（'26）〈字〉	情報社会と国際ボランティア活動（'24）〈字〉	データの分析と知識発見（'24）〈字〉	情報社会のユニバーサルデザイン（'19）〈字〉	メディア論（'22）〈字〉	ユーザ調査法（'20）〈字〉
	45	電気と磁気の物理（'26）〈字〉	力と運動の物理（'27）	量子化学（'19）〈字〉	量子の物理（'27）	感覚と応答の生物学（'23）〈字〉	生物の進化と多様化（'26）〈字〉	植物の科学（'21）〈字〉
7	30	レジリエンスの科学（'24）〈字〉	障害者の自立と制度（'24）〈字〉	住まいの環境論（'23）〈字〉	平和学（'27）	地域福祉の課題と展望（'22）〈字〉	社会政策の国際動向と日本の位置（'23）〈字〉	子どもの人権をどうまもるのか（'21）〈字〉
8	15	ドイツ語I（'27）	フランス語I（'24）〈字〉	中国語I（'27）	英語で発信する日本文化（'26）〈字〉	身近な統計（'24）〈字〉	韓国語I（'25）	英語で読む大統領演説（'20）〈字〉
9	00	イメージの力（'24）〈字〉	臨床心理学概論（'20）〈字〉	色を探究する（'23）〈字〉	認知行動療法（'26）〈字〉	社会・集団・家族心理学（'26）〈字〉	ライフサイクルの心理臨床（'26）〈字〉	心理カウンセリング序説（'21）〈字〉
	45	現代の内部監査（'22）〈字〉	モビリティとまちづくり（'27）	これからの住まいと建築（'25）〈字〉	環境を可視化する技術と応用（'23）〈字〉	ファイナンス入門（'23）〈字〉	経営情報学入門（'23）〈字〉	会計学（'24）〈字〉
10	30	博物館資料保存論（'25）〈字〉	博物館情報・メディア論（'25）〈字〉	博物館展示論（'25）〈字〉	情報技術が拓く人間理解（'27）	『方丈記』と『徒然草』（'18）〈字〉	フィールドワークと民族誌（'24）〈字〉	「人新世」時代の文化人類学（'20）〈字〉
11	15	数学の歴史（'25）〈字〉	ジオストーリー（'25）〈字〉	宇宙の誕生と進化（'19）〈字〉	暮らしに役立つバイオサイエンス（'27）	初歩からの気象学（'27）	正多面体と素数（'21）〈字〉	太陽と太陽系の科学（'18）〈字〉
12	00	告知番組						
	45							
13	30	小児看護学（'22）〈字〉	疾病の成立と回復促進（'25）〈字〉	運動と健康（'22）〈字〉	人体の構造と機能（'26）〈字〉	疾病の回復を促進する薬（'25）〈字〉	豊かに暮らすための不動産学（'26）〈字〉	健康長寿のためのスポートロジー（'24）〈字〉
14	15	母性看護学（'26）〈字〉	コミュニティと教育（'24）〈字〉	学校リスク論（'22）〈字〉	問題解決の進め方（'25）〈字〉	教育・学校心理学（'20）〈字〉	心理学概論（'24）〈字〉	教育の社会学（'25）〈字〉
15	00	精神看護学（'25）〈字〉	日本国憲法（'26）〈字〉	災害社会学（'20）〈字〉	会社法入門（'27）	社会調査の基礎（'27）	自然科学はじめの一歩（'22）〈字〉	社会学概論（'25）〈字〉
	45	生涯学習支援番組	より良い思考の技法（'23）〈字〉	人文地理学からみる世界（'22）〈字〉	博物館概論（'23）〈字〉	日本語学入門（'20）〈字〉	歴史のなかの人間（'22）〈字〉	世界文学への招待（'22）〈字〉
16	30		データ構造の基礎（'24）〈字〉	初歩からの情報科学（'25）〈字〉	情報理論とデジタル表現（'19）〈字〉	情報セキュリティと倫理・心得（'26）〈字〉	英語で学ぶ情報学の歩み（'27）	日本語リテラシー（'26）〈字〉
17	15		生物環境の科学（'25）〈字〉	物理の世界（'24）〈字〉	初歩からの化学（'18）〈字〉	デジタル時代の学びの技法（'27）	初歩からの物理（'22）〈字〉	初歩からの生物学（'24）〈字〉
18	00		遠隔学習のためのパソコン活用（'25）〈字〉	食と健康（'24）〈字〉	ソーシャルシティ（'23）〈字〉	持続可能な社会へのシステム思考（'27）	社会福祉ー新しい地平を拓く（'22）〈字〉	人間・環境情報とDX（'25）〈字〉
	45		多様な子どもの学びと公教育（'27）	地理空間情報の基礎と活用（'27）	心理学研究法（'20）〈字〉	今求められる学力と学び（'26）〈字〉	これからの生徒指導を考える（'27）	肢体不自由児の教育（'26）〈字〉
19	30		金融と社会（'26）〈字〉	日本経済の比較史（'24）〈字〉	初歩からの数学（'18）〈字〉	現代経済理論（'26）〈字〉	持続可能な社会のための財政学（'26）〈字〉	生涯学習支援番組
20	15	生涯学習支援番組						
		告知番組						
21	00	生涯学習支援番組	西洋の美学・美術史（'24）〈字〉	日本美術史の近代とその外部（'18）〈字〉	舞台芸術の世界（'26）〈字〉	文学・芸術・武道にみる日本文化（'19）〈字〉	情報学へのとびら（'22）〈字〉	生涯学習支援番組
	45							
22	30	Webのしくみと応用（'25）〈字〉	ネットワークとスマート社会（'27）	教育のためのICT活用（'22）〈字〉	データベース（'23）〈字〉	ソフトウェア開発入門（'27）	生活を支えるコンピュータ技術（'25）〈字〉	
23	15	宮沢賢治と宇宙（'24）〈字〉	ダイナミックな地球（'21）〈字〉	入門線型代数（'19）〈字〉	入門微分積分（'22）〈字〉	分子の変化からみた世界（'23）〈字〉	かたちの化学ー化学の考え方入門（'23）〈字〉	
		今日のメンタルヘルス（'27）	基礎看護学（'24）〈字〉	地域・在宅看護論（'23）〈字〉	災害看護学・国際看護学（'26）〈字〉	食の安全（'25）〈字〉	災害を乗り越える防災基礎力入門（'26）〈字〉	認知症と生きる（'27）
翌0	00	放送大学イメージソング・学歌	知覚・認知心理学（'23）〈字〉	学習・言語心理学（'25）〈字〉	神経・生理心理学（'26）〈字〉	錯覚の科学（'20）〈字〉	心理学統計法（'21）〈字〉	進化心理学（'23）〈字〉
	15							
	45		現代の国際政治（'26）〈字〉	現代アメリカの政治と社会（'24）〈字〉	マーケティング（'25）〈字〉	人生100年時代の家族と法（'23）〈字〉	雇用社会と法（'21）〈字〉	日本政治外交史（'25）〈字〉
翌1	30		中近世ヨーロッパの歴史（'27）	近現代ヨーロッパの歴史（'22）〈字〉	アメリカ史：世界史の中で考える（'24）〈字〉	映画芸術への招待（'25）〈字〉	古代中世の日本（'23）〈字〉	ユーラシアのなかの中国史（'26）〈字〉
翌2	15					空間と政治（'22）〈字〉	保健医療心理学特論（'22）〈字〉	発達心理学特論（'27）
翌3	00							
時	分	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日

（注）各科目の詳細については、巻末の索引から該当科目の授業科目講義概要をご覧ください。
（注）〈字〉がついている科目には字幕が付与されています。

ラジオ 〔2027年度第1学期　授業期間〕（BS 531ch）　●2027年4月1日（木）～2027年7月14日（水）

時	分	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
6	00	障害児・障害者心理学特論（'27）	臨床心理学研究法特論（'23）	司法矯正・犯罪心理学特論（'26）	学校臨床心理学特論（'27）	臨床心理学特論（'23）（奇数回）	臨床心理面接特論Ⅰ（'25）	臨床心理面接特論Ⅱ（'25）
	45	公共政策（'26）	環境と社会思想（'26）	食農産業の新たな展開（'26）	現実と向き合う政治理論（'22）	臨床心理学特論（'23）（偶数回）	臨床心理地域援助特論（'21）	経済政策（'22）
7	30	韓国語Ⅱ（'25）	ドイツ語Ⅱ（'27）	フランス語Ⅱ（'24）	中国語Ⅱ（'27）	初歩のトルコ語（'26）	初歩のスペイン語（'25）	グローバル時代の英語（'22）
8	15	平和と安全保障（'26）	社会と産業の倫理（'21）	心理と教育へのいざない（'24）	市民自治の知識と実践（'21）	授業科目案内など	成人看護学（'24）	老年看護学（'25）
9	00	NPO・NGOの世界（'25）	現代のフードシステム（'26）	SDGs下のアジア産業論（'23）	オペレーションズ・マネジメント（'26）	西洋政治思想の文脈（'25）	行政学講説（'24）	新興アジアの政治と経済（'24）
	45	博物館教育論（'22）	博物館経営論（'23）	世界文学の古典を読む（'20）	ヨーロッパ文学の読み方ー近代篇（'19）	樋口一葉の世界（'23）	文学批評の現在（'27）	西アジアの歴史（'24）
10	30	心理的アセスメント（'26）	司法・犯罪心理学（'26）	障害者・障害児心理学（'27）	心理臨床における法・倫理・制度（'27）	精神分析とユング心理学（'23）	心理職の専門性（'26）	福祉心理学（'21）
11	15	簿記入門（'22）	管理会計（'22）	環境と社会（'21）	海からみた産業と日本（'22）	イノベーション・マネジメント（'27）	サービスサイエンス（'27）	企業経営の国際展開（'25）
12	00	日本史の基本史料を読む（'27）	韓国朝鮮史研究の論点（'26）	西洋中近世史（'27）	日本文学の研究史（'21）	日本の人的資源管理（'27）	西洋美術史学の歴史と方法（'26）	日本文化と思想の展開ー内と外と（'22）
	45	シン・ビートルズde英文法（'25）	音楽・情報・脳（'23）	ソフトウェア工学（'25）	計算と自然（'25）	モダニズムの文学と文化（'21）	異文化との出会い（'22）	続・教養で読む英語（'27）
13	30	生活経済学（'25）	貧困の諸相（'23）	睡眠と健康（'25）	感染症と生体防御（'24）	健康と社会（'23）	健康への力の探究（'27）	授業科目案内など
14	15	乳幼児の保育・教育（'21）	日本の文化と教育（'23）	幼児教育の指導法（'22）	学校と法（'24）	テーマで学ぶ日本教育史（'24）	発達心理学概論（'27）	現代教育入門（'21）
15	00	経営学入門（'24）	都市と地域の社会学（'24）	政治学入門（'26）	刑法と生命（'21）	社会統計学入門（'24）	一般市民のための法学入門（'23）	社会経済の基礎（'25）
	45	多文化共生のコミュニケーション（'24）	総合人類学としてのヒト学（'18）	『枕草子』の世界（'24）	授業科目案内など	西洋哲学の根源（'22）	日本の近現代（'27）	哲学・思想を今考える（'23）
16	30	情報化社会におけるメディア教育（'24）	自然言語処理（'23）	画像処理（'24）	問題解決の数理（'27）	情報法入門（'27）	プログラムとアルゴリズムの基礎（'26）	コンピュータ通信概論（'24）
17	15	授業科目案内など	線型代数学（'27）	授業科目案内など	数値の処理と数値解析（'22）	ミクロとマクロを繋ぐ熱統計力学（'26）	統計学（'19）	現代を生きるための化学（'22）
18	00	現代社会のなかの家族（'26）	日本の家族問題を考える（'26）	リハビリテーション（'25）	看護管理と医療安全（'24）	公衆衛生（'24）	看護学概説（'22）	リスクコミュニケーションの探究（'23）
	45	家族と教育（'27）	教育政策と行財政（'27）	産業・組織心理学（'26）	感情・人格心理学（'27）	知的障害教育総論（'25）	世界の学校（'24）	特別支援教育総論（'25）
19	30	言語と計算（'26）	家族政策研究（'21）	生活リスク論（'25）	精神医学特論（'22）	ICTを活用した学習デザイン（'27）	要求工学（'24）	現代物理の展望（'19）
20	15	福祉政策と人権（'22）	教育老年学（'22）	教育行政と学校経営（'24）	グローバル時代の教育文化（'25）	看護・保健系調査方法論（'25）	健康・スポーツ科学研究（'27）	スポーツ社会学（'25）
21	00	著作権法（'22）	行政法（'22）	国際法（'25）	ヨーロッパ政治史（'24）	民法（'22）	現代国際社会と有機農業（'23）	環境と持続可能な経済発展（'24）
	45	近世の日本と世界（'26）	英米哲学の挑戦（'23）	西洋音楽史（'21）	史書から見る中国史（'27）	現代に生きる現象学（'23）	時間と存在（'27）	原典で読む日本の思想（'24）
22	30	社会福祉実践とは何か（'22）	支える社会保障（'26）	グリーフサポートと死生学（'24）	地域生活を支える社会福祉と法（'24）	精神疾患とその治療（'26）	超高齢社会を生きる（'27）	高等教育と障害（'27）
23	15	心理統計法特論（'27）	専門的職業と継続的職能開発（'26）	社会心理学特論（'25）	教育心理学特論（'24）	成人の発達と学習（'25）	シティズンシップ教育（'26）	教師教育の国際比較（'26）
翌0	00 15	放送大学イメージソング・学歌						
時	分	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日

（注）各科目の詳細については、巻末の索引から該当科目の授業科目講義概要をご覧ください。

2027年度第1学期大学院修士課程授業科目五十音順索引

あ行
ICTを活用した学習デザイン（’27）…… 43
アカデミック・スキルズ（’25）…… 26・29・36・39・44・48
eラーニングの理論と実践（’24）…… 41
異文化との出会い（’22）…… 38
宇宙、地球、そして人類（’18）…… 46
音楽・情報・脳（’23）…… 40

か行
家族政策研究（’21）…… 20
学校臨床心理学特論（’27）…… 28・33
環境工学（’19）…… 34・48
環境と社会思想（’26）…… 34
看護・保健系調査方法論（’25）…… 21
韓国朝鮮史研究の論点（’26）…… 37
教育行政と学校経営（’24）…… 27
教育情報システム設計（’23）…… 43
教育心理学特論（’24）…… 29・31
教育老年学（’22）…… 27
教師教育の国際比較（’26）…… 28
グローバル時代の教育文化（’25）…… 27
経済政策（’22）…… 34
計算で紐解く物質科学・環境科学（’18）…… 46
計算と自然（’25）…… 41・47
研究のためのICT活用（’21）…… 40
健康・スポーツ科学研究（’27）…… 21
言語と計算（’26）…… 47
現実と向き合う政治理論（’22）…… 36
現代生物科学（’18）…… 45
現代物理の展望（’19）…… 46
公共政策（’26）…… 34
コミュニティケア（’24）…… 20

さ行
サイバーボランティア論（’22）…… 42
自然や環境の諸問題（’25）…… 48
実践的都市景観形成論（’19）…… 35
シティズンシップ教育（’26）…… 27
司法矯正・犯罪心理学特論（’26）…… 32
社会心理学特論（’25）…… 29・32
社会福祉の探究（’24）…… 21
障害児・障害者心理学特論（’27）…… 33
情報デザイン特論（’27）…… 43
情報とコミュニケーション（’23）…… 42
食健康科学（’21）…… 20・48
食農産業の新たな展開（’26）…… 35
人文学の現在（’25）…… 39
心理統計法特論（’27）…… 29・31
数理科学（’21）…… 47
スポーツ社会学（’25）…… 21
生活環境情報学基礎演習（’18）…… 25
生活空間情報の表現とGIS（’24）…… 26
生活リスク論（’25）…… 20
精神医学特論（’22）…… 20・32
成人の発達と学習（’25）…… 27
生態学における情報リテラシー（’23）…… 46
生物の種組成データの分析法（’26）…… 45
西洋中近世史（’27）…… 37
西洋美術史学の歴史と方法（’26）…… 37
先端技術のための現代物理学（’18）…… 46
専門的職業と継続的職能開発（’26）…… 28
ソフトウェア工学（’25）…… 40

た行
地球を読み解く（’19）…… 47
知能システム論（’26）…… 40
データサイエンスの技法（’26）…… 42
統合医療安全・特定行為実践特論（’19）… 25
統合臨床病態生理学・疾病概論（’19）…… 24
特定行為共通科目統合演習（’27）…… 24
都市社会構造論（’23）…… 34

な行
日本史の基本史料を読む（’27）…… 37
日本の人的資源管理（’27）…… 36
日本文学の研究史（’21）…… 38
日本文化と思想の展開ー内と外と（’22）…… 37

は行
発達心理学特論（’27）…… 28・31
フィジカルアセスメント特論（’26）…… 22
フィジカルアセスメント特講演習（’27）…… 22
福祉政策と人権（’22）…… 21
プログラミング応用（’25）…… 44
文化人類学の最前線（’21）…… 38
法律学文献講読（’21）…… 35
保健医療心理学特論（’22）…… 32
保険法（’22）…… 35

ま行
モダニズムの文学と文化（’21）…… 38

や行
野外生物調査法（’19）…… 45
要求工学（’24）…… 43
45分で読む経済思想史（’27）…… 35

ら行
臨床心理学研究法特論（’23）…… 31
臨床心理学特論（’23）…… 30
臨床心理基礎実習 …… 30
臨床心理査定演習 …… 30
臨床心理実習 …… 31
臨床心理地域援助特論（’21）…… 33
臨床心理面接特論Ⅰ（’25）…… 30
臨床心理面接特論Ⅱ（’25）…… 30
臨床推論（’26）…… 22
臨床薬理学特論（’27）…… 23
臨床薬理学特論応用（’27）…… 23
論文作成のための教育研究（’25）…… 28

メモ（ご自由にお使いください）



メモ（ご自由にお使いください）



放送大学　大学院
〒261-8586　千葉県千葉市美浜区若葉2-11